

小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画

平成27年11月

小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会

目次

1. 計画の策定にあたって	1
1) 計画策定の背景	1
2) 計画策定の目的	2
3) 計画の位置付け	2
4) 計画の検討体制と経緯	3
2. 小鹿溪・三徳山周辺地域の現状	4
1) 小鹿溪・三徳山周辺地域の概況	4
2) 小鹿溪・三徳山周辺地域の資源	9
3) 自然公園区域と法指定状況	16
4) 資源活用に向けたニーズの把握	19
3. 小鹿溪・三徳山周辺地域の課題	26
4. 計画の基本方針	28
1) 小鹿溪・三徳山エリアの目指す将来像	28
2) 本計画の基本理念・基本方針	28
5. 基本方策	31
基本方針1「地域の資源を守る」	32
基本方針2「地域の資源を磨く」	34
基本方針3「地域の資源を誇る」	37
6. 推進方策	39
1) 計画推進方策	39
2) 取り組み主体の役割	41
7. 計画の実現に向けて	43
資料編	
1. 計画推進のためのプログラムとアイデア	44
1) 将来像の実現に向けた主な取り組み	44
2) 将来像の実現に向けたその他のアイデア	49
2. 三徳山・三朝温泉の日本遺産認定について	52
3. 小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会会則	56
4. 小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会名簿	58
5. パブリックコメントの内容と対応	59
6. 観光客実態調査結果	61

1. 計画の策定にあたって

1) 計画策定の背景

小鹿溪・三徳山周辺地域は、鳥取県東伯郡の三朝町北東部にあり、世界有数のラドン含有量で有名な「三朝温泉」に近接した地域です。開山 1300 年の歴史を誇る修験道、山岳信仰の聖地として知られる霊山「三徳山」を中心としたこの地域には、日本一危険な国宝鑑賞として知られる「三仏寺奥院（投入堂）」をはじめ、貴重な文化財・歴史的建造物が所在しており、世界に誇れる一級品の観光資源を有しています。また同地域には、四季折々の自然による色彩と奇岩が調和した溪谷美が味わえる名勝小鹿溪のほか、冠岩や俵原高原などさまざまな地域資源も点在しており、さらなる観光資源としての活用が期待されています。

こうした中、平成 26 年 3 月に、三徳山のもつ地形的な特徴や自然植生の希少性が評価され、三徳山の一部（300ha）が「大山隠岐国立公園 大山蒜山地域」に編入されました。さらに、平成 27 年 4 月には三徳山と三朝温泉が、「六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」として文化庁の「日本遺産^{※1}」に認定されました。こうした動きもあり、三徳山の優れた資産を誇りをもって後世へと引き継いでいくための活動が地域一体の運動として推進されているとともに、三徳山のもつ豊かな自然・歴史・文化といった地域の資源を観光資源として活用することにより、地域の交流人口の拡大や中山間地域の活性化へとつなげていくための取り組みが進められようとしています。

一方、近年の観光の傾向として、従来の旧跡・名所を巡る観光から、食や歴史、癒やし、文化といった観光地としてのストーリーを楽しむ「体験型観光」、観光客を受け入れる側の地域（着地）側がその地域独自の資源を活用した魅力ある旅行商品や体験プログラムを開発・提供する「着地型観光」など、「ニューツーリズム」と呼ばれる新たな旅行が注目を集めています。

小鹿溪・三徳山周辺地域のさらなる発展を図るためには、こうした動きとともに、近年の観光ニーズの成熟化・高度化といった変化を捉え、地域住民、観光事業者、団体をはじめ民間事業者・団体、行政などが協働し、地域一体となって地域の魅力を生かした発信していく地域づくりが必要です。

そこで、小鹿溪・三徳山周辺地域の豊かな地域資源や特性を最大限に活用し、地域魅力の創出と交流人口の拡大を図るための総合的かつ計画的な地域づくりを推進していくための指針として、小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画を策定することとしました。

※1)「日本遺産（Japan Heritage）」

日本遺産とは、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものであり、平成 27 年に創設されました。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

世界遺産登録や文化財指定との大きな違いは、いずれも登録指定される文化財（文化遺産）の価値付けを行い、保護を担保とすることを目的とするものであるのに対し、日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域の活性化を図ることを目的としています。

三徳山と三朝温泉は、この日本遺産の初認定地（全国 18 件）のひとつとして認定されました。

2) 計画策定の目的

小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画（以下「本計画」）は、観光の振興が地域の交流人口拡大や中山間地域の活性化の柱となり、持続的に発展していくための原動力になるという共通認識のもと、さらなる観光振興を期待し、地域のもつ自然や文化、歴史、景観など豊かな地域の資源を最大限に活用した魅力ある観光地づくりと、増加する観光客の来訪に向けた環境整備を進めていくため、目指すべき将来像と方向性を地域一体で共有し、協働・連携していくことを目的とします。

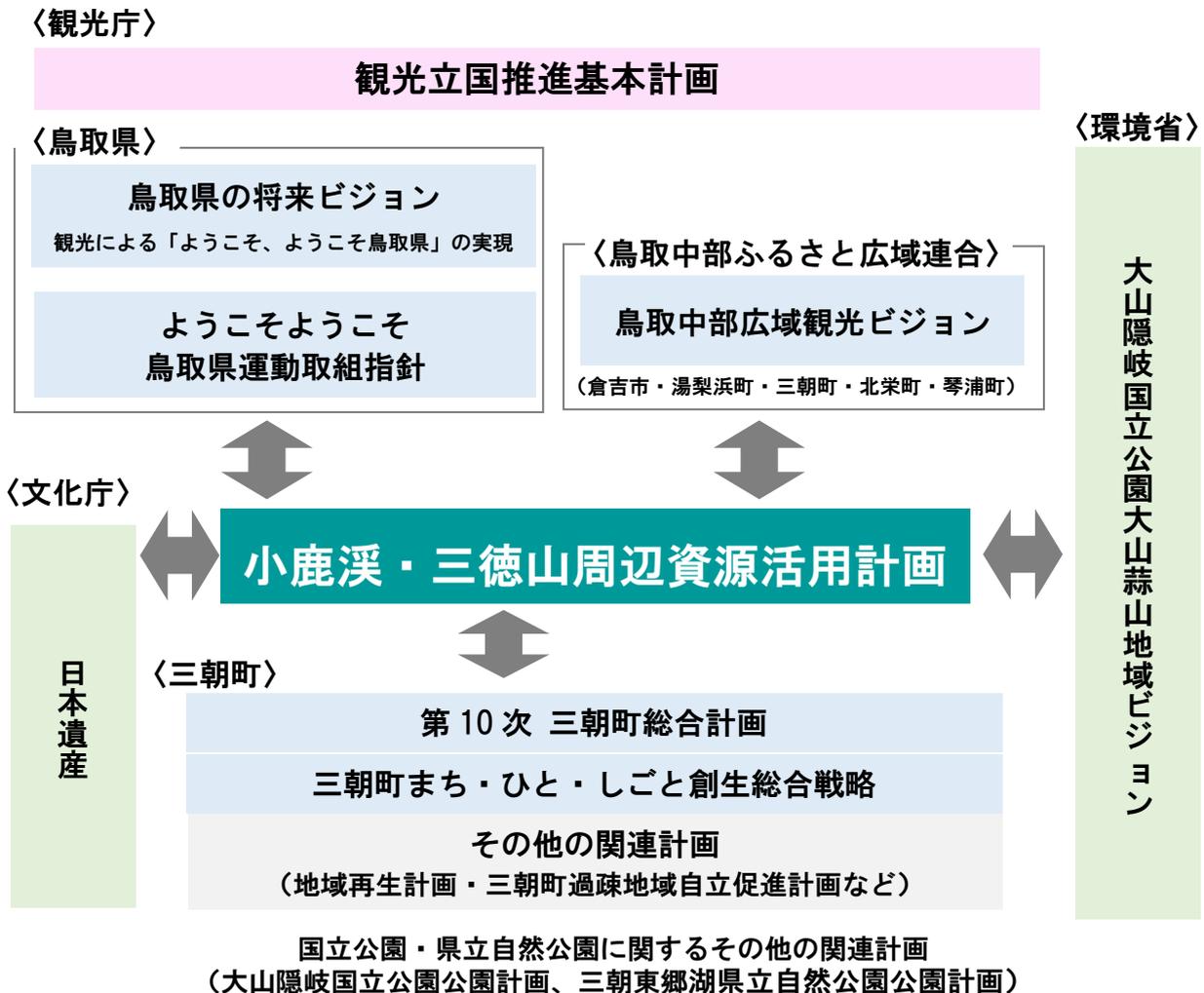
3) 計画の位置付け

本計画は、鳥取県中部、東伯郡三朝町に所在する小鹿溪・三徳山周辺の地域資源を活用した地域振興策・観光振興策の基本となる将来像と方向性を示すビジョンとして策定する計画です。

本計画で示す地域づくりの方策の実現に向けては、地域の住民、観光団体、民間事業者、行政機関など地域に携わる多様な主体の継続的な取り組みと各主体間の連携・協働が求められます。

また、計画の推進においては、各主体で既に取り組みようとしている計画や方策・事業と十分連携し、整合性を図りながら各取り組みを進めていくことが必要です。

■ 小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画を取り巻く関連計画との連携イメージ



4) 計画の検討体制と経緯

本計画は学識経験者、観光商工団体、地域協議会、その他関係団体の役員などから構成される小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会によって検討したものであり、全 5 回の検討委員会、観光客実態調査や計画素案のパブリックコメントを経て策定したものです。

■検討経緯

年月	項目	概要
平成 26 年 7 月 23 日 (水)	第 1 回 検討委員会	・現地視察、説明
平成 26 年 11 月 1 日 (土)～2 日 (日)	観光客 実態調査	・三徳山、小鹿溪における観 光客の実態調査
平成 26 年 12 月 9 日 (火)	第 2 回 検討委員会	・現状の整理 ・将来像・基本方針の検討
平成 27 年 2 月 18 日 (水)	第 3 回 検討委員会	・将来像・基本方針の検討 ・具体施策についての意見収 集(ワークショップ)
平成 27 年 6 月 7 日 (日)	観光客 実態調査	・三徳山、小鹿溪における観 光客の実態調査
平成 27 年 6 月 29 日 (月)	第 4 回 検討委員会	・計画素案の確認
平成 27 年 8 月 1 日 (土) ～20 日 (木)	パブリックコメント	・計画素案に対する意見収集
平成 27 年 10 月 30 日(金)	第 5 回 検討委員会	・計画の承認

2. 小鹿溪・三徳山周辺地域の現状

1) 小鹿溪・三徳山周辺地域の概況

(1) 対象エリアの位置・範囲

① エリアの位置

本計画の対象エリア（小鹿溪・三徳山周辺地域）は、鳥取県の中中部、東伯郡三朝町の北東部に位置する「三徳山（標高 899.7m）」とその周辺を取り囲む山稜で取り囲まれた地域です。三徳山の山体は東西に長く、北側には三徳川、南側には小鹿川が西に流れており、北側の急峻な山腹には国宝投入堂をはじめとする歴史的建造物、南側には多くの滝や淵からなる変化に富んだ溪谷美を見せる小鹿溪が位置しています。

■ 小鹿溪・三徳山周辺地域の位置図



②エリアの範囲

本計画では、対象エリアの範囲について明確な区分の設定はしていませんが、おおむね三徳山とその周辺を取り囲む山稜で区切られた範囲である三徳地域および小鹿地域※を小鹿溪・三徳山周辺地域として想定します。

該当する地区としては、おおむね以下の地区が想定されます。

■対象地区

三徳地域	三朝町大字俵原、三徳、坂本、片柴、余戸
小鹿地域	三朝町大字中津、神倉、東小鹿、西小鹿、高橋、西尾、吉田

■小鹿溪・三徳山周辺地域（西側からの鳥瞰図）



※：対象エリアの想定は、「世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書」の保存管理計画、資産と一体をなす周辺環境の範囲を想定する（旧三徳村および旧小鹿村の範囲）

(2) 対象エリア周辺の状況

① エリア周辺の交通網

本エリア周辺には、国道 179 号および 482 号が広域道路ネットワークを形成しており、岡山県側と倉吉市、湯梨浜町と連絡しています。また本エリア内には国道 179 号と連絡する主要地方道 鳥取鹿野倉吉線が走っており、三朝温泉および鳥取市と連絡しています。

また南側には、小鹿川を沿うように主要地方道 三朝中線が走っており、中津貯水池上流側で林道と接続し、鳥取市に連絡しています。また、エリアの南側、国道 179 号沿いには、道の駅三朝・楽市楽座が設置しており、本エリアや三朝温泉を訪れる来訪者の立ち寄り先として機能しています。

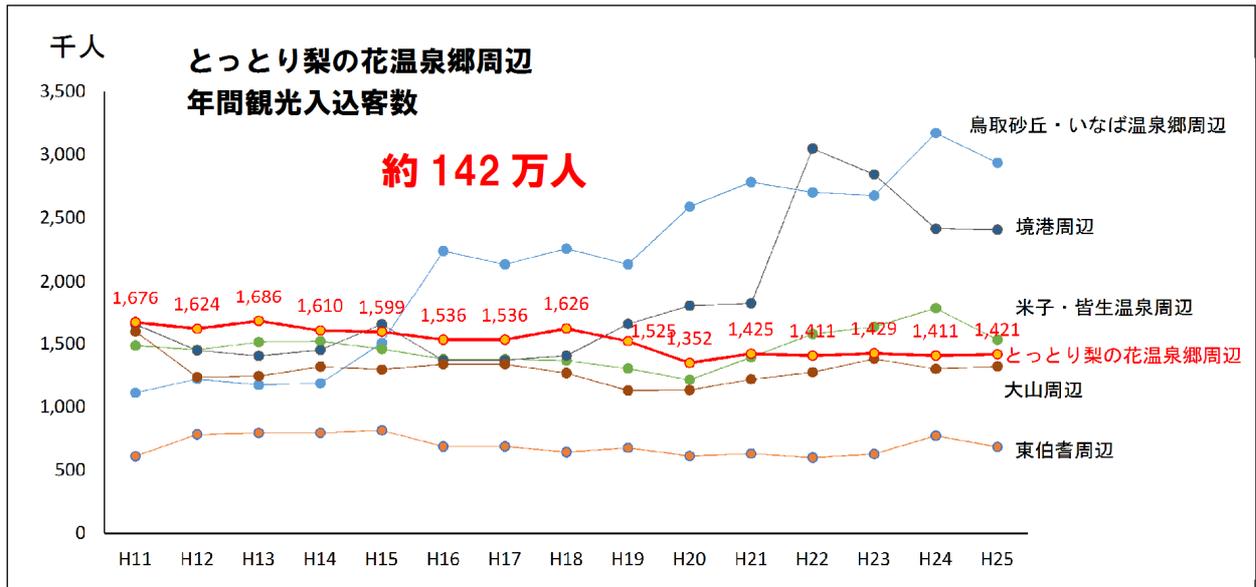
■ 周辺交通網図



②エリア周辺の観光動向と近隣観光資源

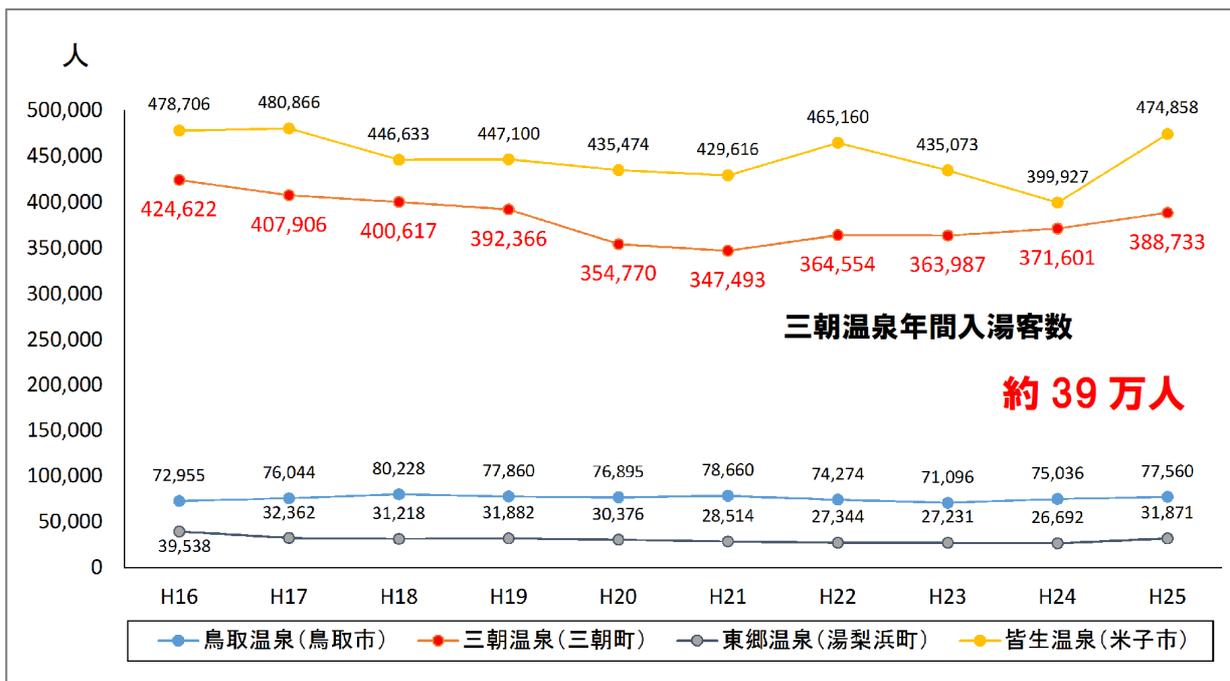
本エリアの位置する鳥取県中部には、本エリアに隣接する三朝温泉をはじめ、数多くの温泉地や観光施設が立地しています。三朝町を含む「とっとり梨の花温泉郷周辺（倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町）」の年間観光入込客数は約 142 万人（平成 25 年現在）であり、三朝温泉の年間入湯客数は約 39 万人に達しています。

■鳥取県の地域別観光入込客数（年間）



出典：鳥取県観光入込動態調査（鳥取県文化観光スポーツ局観光戦略課）
※とっとり梨の花温泉郷構成市町村（倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町）

■鳥取県内の主要温泉地入湯客数（年間）



出典：鳥取県観光入込動態調査（鳥取県文化観光スポーツ局観光戦略課）

■ エリア周辺に立地する主な観光資源（三朝町内）

	区分・分類	名称	所在
観光資源	温泉	三朝温泉	三朝
	名所	河原風呂、かじか橋、恋谷橋	三朝
	公園	キュリー広場、ふるさと健康むら	三朝・横手
	寺院	南苑寺	三朝
	神社	三朝神社	三朝
	足湯	河原の湯、株湯、かじかの湯、薬師の湯	三朝
	体験施設	ふるさと健康むら	横手
	美術館	みささバイオリン美術館	三朝
	道の駅	道の駅三朝・楽市楽座	大柿

出典：三朝 navi（三朝町）および鳥取県ちゅうぶ観光ナビ（鳥取県）

■ エリア周辺に立地する主な観光資源（三朝町外）

	区分・分類	名称	所在
観光資源	山陰海岸国立公園	鳥取砂丘	鳥取市
	歴史的町並み地区	白壁土蔵群・赤瓦	倉吉市
	庭園	中国庭園 燕趙園	湯梨浜町
	記念館	水木しげるロード・水木しげる記念館	境港市
	大山隠岐国立公園	大山・蒜山地域	大山町・ 岡山県真庭市など
	フラワーパーク	とっとり花回廊	南部町
	資料館	青山剛昌ふるさと館	北栄町
	博物館	鳥取二十世紀梨記念館 なしっこ館	倉吉市

出典：三朝温泉の観光情報（三朝温泉観光協会および三朝温泉旅館協同組合）



三朝温泉「河原の湯」（三朝町）

2) 小鹿溪・三徳山周辺地域の資源

(1) 自然資源

三徳山は、人を寄せ付けないその「急峻な地形」や「山岳仏教の聖地」として信仰の対象であったことなどの要因により、古来より開発が阻まれ、現在も照葉樹から冷温帯の落葉広葉樹までの自然林が連続して垂直に分布するなど、原生的で貴重な自然が多く残されています。

また、これらの自然環境の中では、豊かな生物相が育まれており、絶滅危惧種に指定されているような希少性の高い動植物が多く生息しており、国内でも第一級の自然資源であるといえますが、三徳山の神聖性がゆえに、これまで、動物などの積極的な調査・研究があまり実施されていないのが現状です。

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な自然資源一覧（地域）

区分・分類		名称	所在
国指定	国立公園特別地域	三徳山地域（自然林） 山麓部のウラジロガシなどの照葉樹林から上部のブナ林までが連続して残されている地域	三徳山

出典：大山隠岐国立公園大山蒜山地域公園区域および公園計画書（環境省）

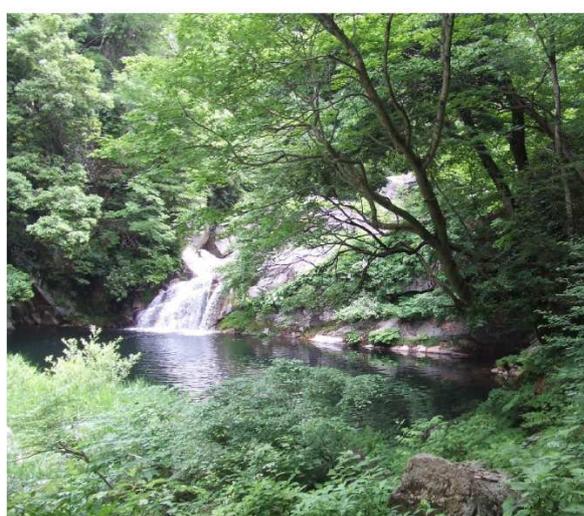
■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な自然資源一覧（天然記念物）

区分・分類		名称	所在
国指定	特別天然記念物	オオサンショウウオ	町内
町指定	天然記念物（三朝町の花）	石楠花（シャクナゲ）	町内
	天然記念物	ミツガシワ	三徳山周辺
		ミスミソウ	三徳山周辺
		エゾカワラナデシコ	三徳山周辺
		シシンラン	三徳山周辺
	セッコク	三徳山周辺	

出典：大山隠岐国立公園三徳山ガイドブック（鳥取県）およびH25 三朝町勢要覧



名勝及び史跡三徳山の原生的な自然環境
（ブナやトチの自然林）



名勝 小鹿溪

(2) 歴史・文化資源

三徳山は中央貴族、近世大名などをはじめ多くの人々が信仰を寄せた山陰の霊峰です。

その周辺地域には、国宝三仏寺投入堂をはじめとする歴史的建造物が点在しており、信仰の場、宗教施設群としての歴史的価値が高いだけでなく、「人と自然との調和」という思想が通底する信仰の空間として、時代を越えて人と自然とのかかわりを表現した顕著な文化的景観が存在しており、現在も世界文化遺産に向けた登録活動が行われています。

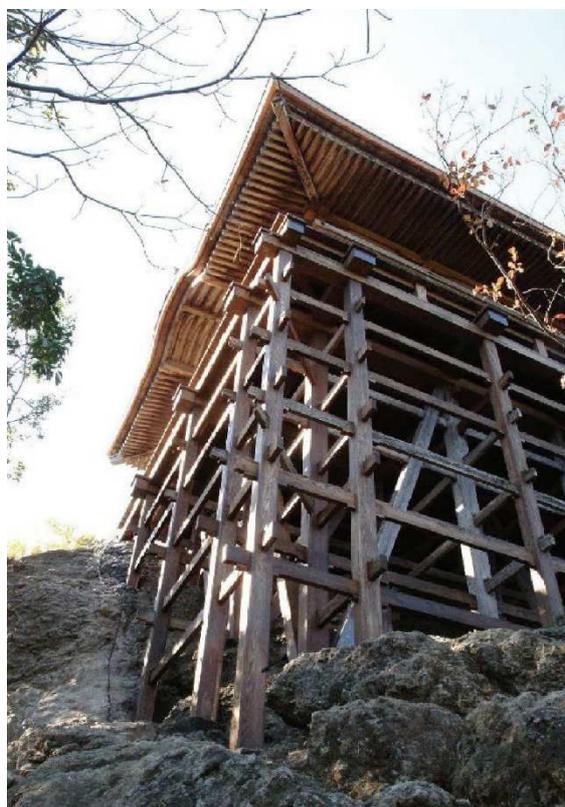
また、本エリアには数多くの文化財が所在しており、国指定が12、県指定が8あるほか、町指定が12あり、町内文化財の大半が所在している地域です。

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な歴史・文化資源一覧（国指定国宝・重要文化財）

区分・分類		名称	所在	指定年	
国指定	国宝	三仏寺奥院（投入堂）	三徳	明治27年	
	重要文化財	建造物	三仏寺納経堂	三徳	明治37年
			三仏寺地藏堂	三徳	明治37年
			三仏寺文殊堂	三徳	明治37年
			木造蔵王権現立像（奥之院安置）	三徳	明治37年
		美術工芸品	木造蔵王権現立像	三徳	大正9年
			木造聖観音立像（観音堂安置）	三徳	大正9年
			銅鏡	三徳	明治37年



国宝三仏寺奥院（投入堂）



重要文化財 三仏寺文殊堂

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な歴史・文化資源一覧（県指定保護文化財・町指定有形文化財など）

区分・分類			名称	所在	指定年
県指定	保護文化財	建造物	三徳山三仏寺建造物群（不動堂・元結掛堂・観音堂、鐘楼堂、十一面観音堂、本堂）	三徳	平成 14 年
		美術工芸品	銅造誕生釈迦仏立像	三徳	平成 7 年
			木造狛犬	三徳	昭和 62 年
			木造狛犬（阿形）	三徳	平成 21 年
			木造阿弥陀如来立像	三徳	平成 23 年
		木造蔵王権現立像	三徳	平成 23 年	
町指定	有形文化財	建造物	中津の普賢堂	中津	昭和 63 年
		美術工芸品	男神座像	三徳	昭和 63 年
			女神座像	三徳	昭和 63 年
			宮本包則刀剣	三徳	昭和 63 年
			写経	三徳	昭和 50 年
			三仏寺本堂俳諧額	三徳	昭和 63 年
			南条家古文書	中津	昭和 63 年
			唐櫃	三徳	平成 24 年
			白磁香炉	三徳	平成 24 年
			参籠札	三徳	平成 24 年
			多聞天像 邪鬼	(非公開)	平成 25 年
			持国天像 邪鬼	(非公開)	平成 25 年
			子守権現甲冑騎馬像	三徳	平成 26 年
			勝手権現騎馬像	三徳	平成 26 年
未指定		建造物	香楼堂	三徳	—
		建造物	輪光院	三徳	—
		建造物	皆成院	三徳	—
		建造物	神倉神社	神倉	—

出典：H25 三朝町勢要覧（三朝町）および世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書（三朝町・鳥取県）

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な歴史資源一覧（無形民俗文化財・祭礼行事）

区分・分類			名称	所在	指定年
町指定	無形民俗文化財	民俗	三徳山御幸行列	(三徳)	平成 23 年
その他	祭礼行事	民俗	三徳縁（春季法要）	(三徳)	—

出典：世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書（三朝町・鳥取県）

(3) 対象エリアの位置・範囲

三徳山は、昭和 9 年（1934 年）に国の名勝に指定され、小鹿溪は、花崗岩の浸食により発達した滝や淵が連続した峡谷で、三朝町神倉地区から上流の中津ダムまでの約 3km の区間が、昭和 12 年（1937 年）に国の名勝に指定されています。

現在、小鹿溪には、約 1km の遊歩道が溪床沿いに整備され、遊歩道沿いには、ブナをはじめとした常緑の広葉樹が群生し、林床をシダ、コケなどが覆っており、溪谷美と森林浴が堪能できる場となっています。

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な観光資源一覧（名勝・景勝地）

区分・分類		名称	所在
国指定	名勝及び史跡	三徳山	三徳
	名勝	小鹿溪	中津・神倉
県指定	名勝	正善院庭園	三徳
未指定		冠岩	神倉

出典：H25 三朝町勢要覧（三朝町）および世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書（三朝町・鳥取県）

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な観光資源一覧（観光施設）

区分・分類		名称	所在
	観光資源（東屋）	投入堂遥拝所	三徳
	観光資源（寺院）	三徳山三仏寺	三徳
	観光資源（修験道）	三徳山行者道	三徳
	観光資源（遊歩道）	小鹿溪遊歩道	神倉
	観光資源（遊歩道）	中国自然歩道	—
	観光駐車場	密坊駐車場	三徳
	観光駐車場・トイレ	観音院駐車場	三徳
	観光駐車場	冠巖展望駐車場	神倉
	観光駐車場・トイレ	小鹿溪もみじの里展望駐車場	神倉
	民間施設（飲食店）	谷川天狗堂	三徳
	民間施設（飲食店）	みとく苑	三徳
	民間施設（飲食店）	三徳茶屋	三徳
	宿坊	宿坊 輪光院	三徳
	宿坊	宿坊 皆成院	三徳
	休憩情報発信施設 （ビジターセンター）	三徳山休憩舎	三徳

(4) 既存施設

小鹿溪・三徳山周辺地域には、地域活動の拠点として活用されている既存施設が所在しています。適切な維持管理・修繕整備を図りながら、今後とも継続した有効活用を図ることが期待されます。

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な既存施設（休憩施設・研修施設など）

区分・分類	名称	所在
休憩施設	三徳山ふるさと自然のみち ウォーキングセンター	三徳
研修施設	三徳地区多目的研修施設（三徳センター）	片柴
研修施設	小鹿地区多目的研修施設（バンビセンター）	高橋
田舎滞在体験施設	古民家「コミニカ」	俵原

(5) 人的資源（地域協議会・地域団体）

両地域には、三朝町「地域の総合力を高め自立を促進する条例」に基づき地域住民が自主的な地域づくりを行うことを目的として、「三徳地域協議会」および「小鹿地域協議会」が設立されています。こうした地域協議会・地元団体を通じ、当該地域においては、生活に即した各種の事業、学習活動、地域における伝統文化の伝承や、環境美化活動など、地域住民が主体となって取り組んでいます。

■小鹿溪・三徳山周辺地域の主な人的資源（団体）

区分・分類	名称	所在
地域協議会	小鹿地域協議会	高橋
地域協議会	三徳地域協議会	片柴
地域団体	日本遺産三徳山三朝温泉を守る会	—
協議会	世界遺産登録運動推進協議会	—



地域による清掃活動

3) 自然公園区域と法指定状況

(1) 自然公園区域

本エリアは、大山や蒜山など同様の火山による特徴的な地形を有しており、照葉樹から冷温帯の落葉広葉樹までの自然林が連続して垂直に分布するなど、原生的で貴重な自然が多く残されていることなどから、平成 26 年 3 月 19 日に三徳山地域が「大山隠岐国立公園」の大山蒜山地域に編入され、特別地域に指定されているとともに、小鹿溪地域が自然公園法および鳥取県立自然公園条例に基づく「三朝東郷湖県立自然公園」の特別区域に指定されています。

また、上記を除く本エリアの全域が自然公園法に基づく「三朝東郷湖県立自然公園」の普通地域に指定されています。

■自然公園区域面積（保護規制区域）

大山隠岐国立公園（大山蒜山地域） 三徳山特別地域			鳥取県立自然公園（三朝東郷湖自然公園） 三徳山特別地域・小鹿溪特別地域				
保護規制地域		三徳山	小鹿溪	保護規制地域		三徳山	小鹿溪
特別地域	特別保護地区			特別地域	第 1 種特別地区	0ha	
	第 1 種特別地区	137ha			第 2 種特別地区	0ha	70ha
	第 2 種特別地区	163ha			第 3 種特別地区	34ha	56ha
	第 3 種特別地区						
	計	300ha			計	34ha	126ha
普通地域				普通地域	三朝町内 7,431ha		

出典：「大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）指定及び計画書」環境省
「三朝東郷湖県立自然公園一県立公園区域図」鳥取県緑豊かな自然課

(2) 国立公園内の事業計画（利用施設計画）

施設計画では適正に公園を利用するために必要な施設、荒廃した自然環境の復元や危険防止のために必要な施設を計画し、それぞれの計画に基づき公園事業として施設の設置を行っています。大山隠岐国立公園 大山蒜山地域の「施設利用計画」に記載されている三徳山地域の施設利用計画は以下のとおりです。

■大山隠岐国立公園 大山蒜山地域 施設利用計画（H26.3 編入・計画決定）

施設など		位置・区間
単独施設	園地	鳥取県東伯郡三朝町（三徳山）
	休憩所	鳥取県東伯郡三朝町（三徳山）
歩道	三徳山登山線	起点－鳥取県東伯郡三朝町（三徳・国立公園境界） 終点－鳥取県東伯郡三朝町（三徳山）

(3) 県立公園内の事業計画（利用施設計画）

三朝東郷湖県立自然公園の「施設利用計画」に記載されている三徳山地域および小鹿溪の施設利用計画は以下のとおりです。

■三朝東郷湖県立自然公園（H6.12 計画決定 H26.2 一部変更）

施設など		位置・区間
単 独 施 設	駐車場	鳥取県東伯郡三朝町（三徳山）
	園地	鳥取県東伯郡三朝町（三徳山）
	園地	鳥取県東伯郡三朝町（小鹿溪）
歩 道	三徳山登山線	起点—鳥取県東伯郡三朝町（三徳・歩道起点） 終点—鳥取県東伯郡三朝町（神倉・歩道終点）
	小鹿溪探勝線	起点—鳥取県東伯郡三朝町（神倉・歩道起点） 終点—鳥取県東伯郡三朝町（中津・歩道終点）
	中国自然歩道線	起点—鳥取県東伯郡三朝町（俵原・県立自然公園境界） 終点—鳥取県倉吉市（円谷町・県立自然公園境界）
車 道	三朝・河原線	起点—鳥取県東伯郡三朝町（神倉・県道附帯展望駐車場） 終点—鳥取県倉吉市（中津・県立自然公園境界）

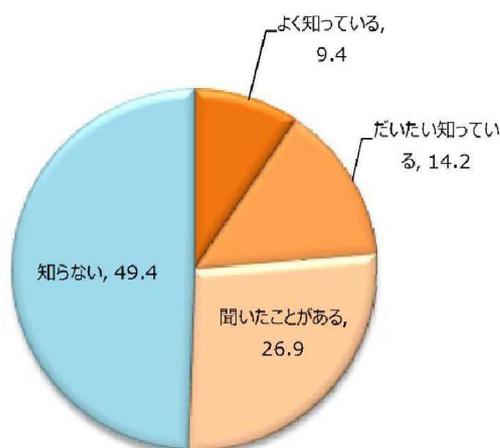
4) 資源活用に向けたニーズの把握

(1) 小鹿溪・三徳山の認知度・興味度

①三徳山に対する認知・興味度

山陰観光推進協議会が実施した全国のモニター会員を対象とした「山陰（鳥取・島根）観光動態調査※」（GAP 調査）によると、三徳山に対する認知度は 50.5%、興味度は 52.8%であり「認知度・興味度がともに高い観光地」として位置付けられています。

■ 「三徳山」の認知度（GAP 調査）



■ 「三徳山」の興味度（GAP 調査）



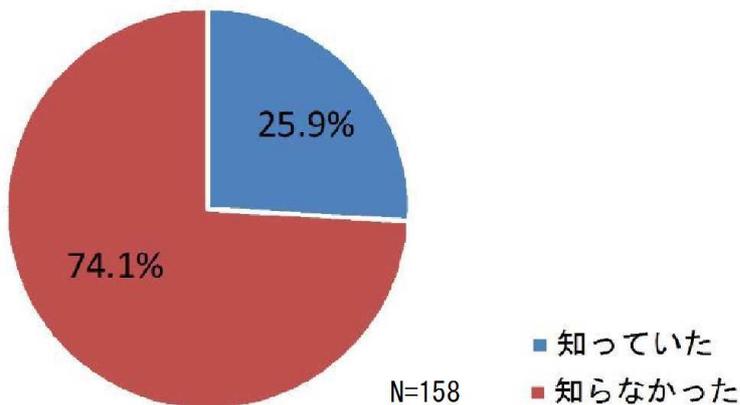
※調査の概要

「山陰（鳥取・島根）観光動態調査」（山陰観光推進協議会）	
調査方法	インターネットモニター会員に対するアンケート調査
調査対象	首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）・中京圏（愛知・岐阜）・関西圏（大阪・兵庫）・中四国圏（鳥取・島根・広島・岡山・香川・愛媛）・福岡の「マクロミル」のモニター会員 2,064 名
調査実施期間	平成 25 年 12 月 4 日（水）～5 日（木）

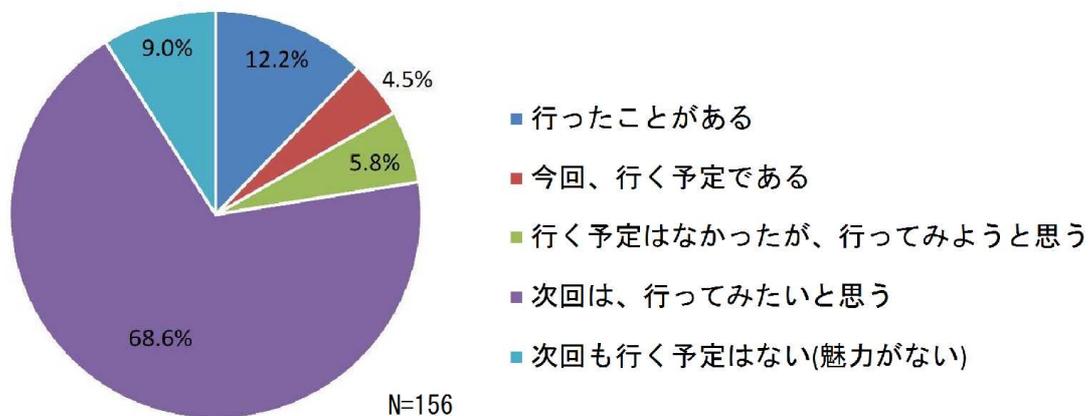
②小鹿溪に対する認知・興味度

三徳山来訪者に対して実施した「小鹿溪・三徳山周辺地域 観光客実態調査^{*}」では、小鹿の認知度は 25.9% と低い一方で、「次回は行ってみたい」と答えた回答者は 68.6% という結果が示されています。また、「行く予定はなかったが行ってみようと思う」と答えた回答者の割合は、5.8%でした。

■「小鹿溪」の認知度（三徳山来訪者）



■「小鹿溪」の興味度（三徳山来訪者）



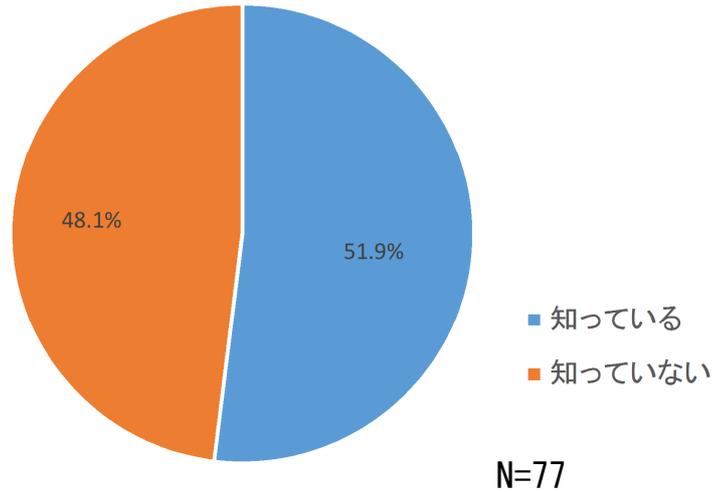
※調査の概要

「小鹿溪・三徳山周辺地域 観光客実態調査」（観光客への聞き取り調査）	
調査方法	小鹿溪および三徳山を訪れた観光客
調査実施場所	小鹿溪駐車場・三徳山投入堂遥拝所
調査期間	平成 26 年 11 月 1 日（土）～2 日（日）

③ 「三徳山三朝温泉日本遺産認定」に関する認知度

小鹿溪・三徳山周辺地域の来訪者に対して実施した「小鹿溪・三徳山周辺地域 観光客実態調査（追加調査）※」では「三徳山三朝温泉日本遺産認定」、の認知度は51.9%と約過半数が認知していることが示されています。

■ 「三徳山三朝温泉日本遺産認定」に関する認知度
（小鹿溪来訪者及び三徳山来訪者）



※調査の概要

「小鹿溪・三徳山周辺地域 観光客実態調査（追加調査）」（観光客への聞き取り調査）	
調査方法	小鹿溪および三徳山を訪れた観光客
調査実施場所	小鹿溪駐車場・三徳山投入堂遥拝所
調査期間	平成27年6月7日（日）

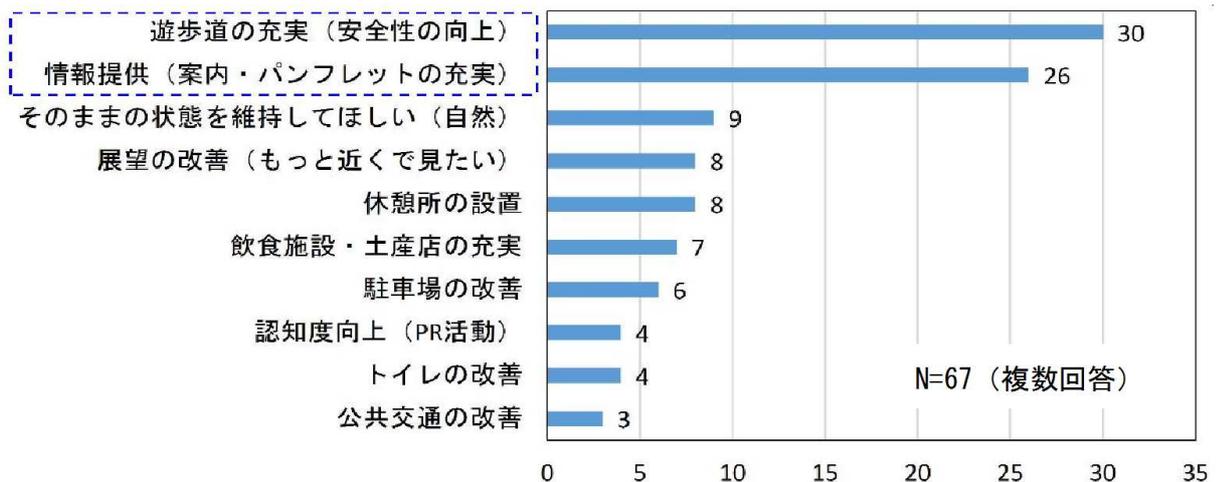
(2) 小鹿溪・三徳山周辺地域に対する来訪者のニーズ

「小鹿溪・三徳山周辺地域 観光客実態調査」およびパブリックコメントによる観光客の小鹿溪に対するニーズは以下のとおりです。

①小鹿溪に対する観光客の意見・要望

遊歩道の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観や川は美しく、自然が楽しめる場所である。 ・ 遊歩道の維持管理が不十分であり、木や雑草が生い茂っていて歩きにくい。 ・ 階段がすべりやすいため、手すりの整備が必要である。子どもや高齢者にとっては危険である。 ・ 木々が生い茂っており、溪谷の景観が見えない。 ・ もう少し水辺に降りられるような場所にしてほしい。
案内サイン解説板情報提供の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板が劣化しており、文字が読みづらい。 ・ 散策する前に見所や奇岩の情報が欲しい。どこが見所なのかわからない。 ・ 遊歩道の全体像が見えず、初めて来た人は遊歩道がどこまで続いているのかわからない。 ・ 遊歩道中間部に案内がなく、上流側に遊歩道が続くことがわからない。 ・ 紅葉の時期がいつなのかの情報がほしい。 ・ 夏場に水遊びをしてよい場所なのかどうかかわからない。
休憩施設 駐車場 道路 トイレ の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレが遊歩道の入り口にしかなく、遊歩道の中間地点や終点地点にもトイレや休憩所は必要である。 ・ 駐車場から 1km 先の遊歩道の上流側に見所が多いため、車ですぐに行けるように上流側にも駐車場を整備してほしい。 ・ 食事やお茶が楽しめる場所が近くにない。自動販売機などを設置してほしい。 ・ 道幅が狭く、対向車が来た場合不安になる。

■小鹿溪に対する観光客の要望



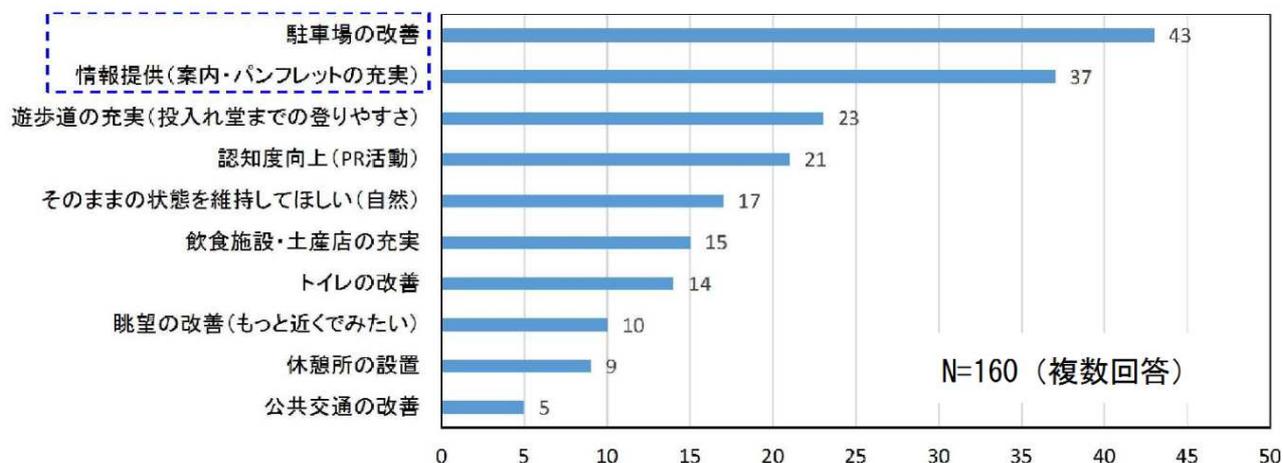
パブリックコメント

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取県中部総合事務所および三朝町ホームページでの意見収集 ・ 道の駅「楽市・楽座」、三徳山休憩舎、三朝温泉観光商工センター「三朝温泉ほっとプラ座」、鳥取県中部総合事務所および三朝町役場での記入形式の意見公募
調査期間	平成 27 年 8 月 1 日～平成 27 年 8 月 20 日

②三徳山に対する観光客の意見・要望

駐車場の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・対岸駐車場の場所がわかりづらい。大きな案内板が必要。 ・ピーク時には、車を止める場所が足りないため、駐車場を拡大してほしい。 ・駐車場の枠（区画割）がなく、車が停めにくい。 ・三徳山駐車場から遥拝所までの距離が遠く感じる。
案内サイン解説板の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から三仏寺や投入堂遥拝所への案内がわかりにくい。駐車場から三仏寺への案内図や、参拝案内の道順を提示してはどうか。 ・参拝登山に関する情報提供が乏しい（所要時間、服装や天候による入山規制）。 ・三朝温泉方面からの道路看板はわかりやすい一方で、鹿野方面からの案内が少ない。 ・ホームページがわかりにくい、気軽に手に入るガイドブックのようなパンフレットがほしい。
参拝道の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・服装の貸し出しや、単独登山ができるようにしてほしい。 ・子どもや高齢者が楽しめるように配慮してほしい。安全性の向上が必要である。 ・投入堂までの参拝道とは別に、安全にハイキングができる環境を整えてほしい。 ・もう少し投入堂まで登りやすくしてほしい。
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一危険な参拝ができる場所であることをもっとPRしてほしい。 ・関西・関東方面に積極的にPRしてほしい。
資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ今ある自然のままの状態を残してほしい。 ・整備によって景観を壊してほしくない。
休憩施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・湯葉や三徳豆腐、とちもちなど地域の食文化が体験できる飲食施設や特産物販売所がほしい。 ・投入堂遥拝所の近くにトイレを整備してほしい
眺望の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・投入堂が近くで見えるようにしてほしい ・スギ林により遥拝所から投入堂が見えづらい。

■三徳山に対する観光客の要望



(3) 小鹿溪・三徳山周辺地域に対する専門家・地域の意見・要望

小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会において出された、小鹿溪・三徳山周辺地域に対する専門家・地域の主な意見・要望は、以下のとおりです。

①有識者および専門家の意見・要望

(大学教授・環境省・鳥取県・NPO 団体など)

- 三徳山は信仰の対象であり、素朴な良さが残っている。今ある魅力を崩さないことが重要であり、神域の雰囲気を変えない活用が求められる。
- 三徳山にある昔ながらの日本の原風景を残しながら、さらなる価値向上につなげていきたい。
- 三徳山は貴重な猛禽類の繁殖地であり、遊歩道や登山道を整備する場合は、配慮が必要である。また、小鹿溪・三徳山周辺地域の自然を保全するためには、そうした猛禽類の生息域や小鹿川や三徳山の流域単位で考える必要がある。
- 景色・自然・歴史的な物に関しては観光資源を PR していく必要があるが、動植物など貴重なものを対外的に PR することが必ずしも良いとはいえない。利用者増と自然保護のトレードオフを考慮する保全と活用のバランスが重要である。保全と活用のバランスを図りながら地域の資源を活用していきたい。
- 三徳山での自然環境の保全や活用についての研究を進めていきたい。小鹿溪・三徳山は学術的にみても、貴重な資源である。
- 小鹿溪は地形・地質的に特異な自然環境であり、地域防災や減災を考えるうえでも重要なフィールドである。また、三徳山には貴重な動植物の宝庫である。足りていない昆虫や動植物の調査を進めていきたい。
- 高い評価の自然環境や特異な地形など専門知識をわかりやすく住民に伝えていくことが重要である。
- 地域の保全を考えるうえでは、住民の意識の向上が必要である。
- 観光地として質の高い地域をつくっていくには、地域を巻き込んだ継続性が必要である。
- 景勝地としてのイメージが前面に出ており、地域の自然が十分に生かされていない。
- 小鹿溪は多面的な魅力がある。新緑、バードウォッチング、体験学習やアクティブ系の遊びなど潜在的な資源の活用を進めていきたい。
- 森林の資源や施業についても同時に考えていきたい。
- 三朝町では、三徳に情報発信施設として休憩施設の整備（平成 27 年 4 月）を予定している。
- 大山隠岐国立公園としての一体感を示すために、大山と三徳山が中国自然歩道でつながっていることを PR していきたい。

②地域の意見・要望

(三朝町・地域協議会・地域住民・三朝温泉観光協会・三朝町商工会など)

- 小鹿溪や三徳山は地域の振興上、重要な場所である。交流人口を増やしていくことが大切であり、地方創生といわれる時代の中で、各地域の資源を生かしていくことが重要である。
 - 地域が中心となって沿道の植栽を実施している。そうした地域の活動に地域の若い人も参加してほしい。
 - 地域の住民を巻き込んでいくには、資源の活用によって生まれるメリットを地域が得る仕組みをつくることが重要となる。
 - 地域の人が、持っている資源を見つめ直してもらうことをしていきたい。
 - 地域が誇りをもって、地域の価値を認め、三徳山や小鹿溪という郷土の宝・資源を誇ってもらいたい。
-
- 三徳山の日本遺産認定により、にぎやかになってきているようだが、小鹿溪はあまり知られていない。小鹿溪のさらなる魅力アップとPR を実行していきたい。
 - 地域の資源や魅力を発掘し、より一層の PR が必要である。また、小鹿溪や三徳山の観光資源は点と点の状況である。隠された多々の魅力を、ネットワーク化し、地域の活性化につなげていきたい。
 - 小鹿溪の周辺には、あまり知られていない三仏寺との歴史的・文化的な繋がりのあるお堂や文化財が所在している。こうした資源についても地域で情報を共有し、積極的に観光客に紹介していきたい。
 - 三徳山から観光客を小鹿溪へ誘導し、循環できる仕組みをつくることで魅力ある地域づくりを進めていきたい。
-
- 三朝温泉の地域資源を活用など三朝温泉とのタイアップできる体制を整えていきたい。
 - 関係者間の共通認識、情報共有を進め、世界遺産にむけた研究や、エコツーリズムとしての場所を作っていきたい。
-
- ガイドなどのソフト方策を充実させていきたい。資源を活用して何をするかを意識したハードの整備が必要である。
-
- とちもちや三徳豆腐など地域の食文化を積極的に発信していきたい。
 - 遠方から集客できるように、三仏寺の本堂などで子どもたちの社会生活の役に立つ法話を定期的実施してはどうか。ホームページなどでわかりやすく開示すれば良い人が集まると思う。
 - 三徳川はヤマメ、ハエ、マス、ウグイの絶好の釣り場である。
 - 各地区の集落を活用して地域がおもてなしできる環境をつくっていきたい。
-
- 三徳山と三朝温泉を一体と考え、三朝町に1時間でも多く滞在してもらえる環境を整備してはどうか。
-
- 投入堂までのロープウェイを設置してはどうか
 - 資源を活用していくためには、地域の人と外から来た人が協議できる場所が必要である。

3. 小鹿溪・三徳山周辺地域の課題

以上の現状を踏まえると、小鹿溪・三徳山周辺地域の資源活用に向けた課題は以下のように整理されます。

(1) 地域資源の保全と活用

小鹿溪・三徳山周辺地域には、水と緑の美しい自然環境、古来より蓄積されてきた貴重な歴史・文化資源、世界に誇れる評価の高い景観資源など、他地域にはない地域資源が多くある地域です。

こうした資源を活用し、魅力ある地域づくりを進めていくためには、持続可能な資源の活用を考えるとともに、誇りを持って貴重な資源を次世代へと引き継いでいくために、保全と活用のバランスを図っていくことが必要です。

(2) 地域の再認識

小鹿溪・三徳山周辺地域には、国宝投入堂をはじめとした一級品の観光資源がある一方で、冠岩など、高い価値を有しながらあまり認知・注目されていない地域資源も多く所在しています。

地域の魅力向上にあたっては、こうした潜在的な地域資源を掘り起こし、観光資源として活用できるように磨き上げる必要があります。

また、地域づくりの大きな第一歩として、まずは地元の方々が地域の優れた資源を“郷土の誇り”として再認識するとともに、その資源の魅力や価値を理解していくことも必要です。

(3) 迎え入れ体制の充実

小鹿溪・三徳山周辺地域は、鳥取県を代表する温泉地「三朝温泉」が隣接していることもあり、関西圏や首都圏といった遠方からも多くの来訪者が訪れる地域です。また、三徳山の国立公園編入や日本遺産認定により、今後一層の来訪者が訪れることが予想されます。

そのため、現在、観光客の問題意識が高い道路環境や観光施設、案内・情報提供の不足といった課題を早期に解消させる必要があります。さらに、観光客がまた来たいと思えるような魅力づくり、満足できる質の高い観光サービスを提供する必要があります。

(4) 地域の連携強化

現在、三仏寺周辺や三朝温泉といった観光の目玉となる観光資源には多くの人立ち寄り一方で、小鹿溪や冠岩など魅力を秘めた観光資源を利用する観光客はまだまだ多くはない状況です。

小鹿溪・三徳山周辺地域の資源を活用し、地域全体としての活性化を図っていくためには、地域に点在する様々な資源を関連付けて活用し、地域全体での観光資源としての魅力を向上させていく必要があります。

多くの観光客が立ち寄る三徳山や三朝温泉を観光客誘客の目玉とし、小鹿溪・三徳山周辺地域としての連携強化・一体性をつくり上げることにより、観光地としてのさらなる魅力向上につなげていく必要があります。

(5) 情報発信力の強化

小鹿溪・三徳山周辺地域には、国宝投入堂や国立公園に指定された全国での一級品の地域資源が所在しており、観光活性を図るうえでは非常に恵まれた地域です。

小鹿溪・三徳山周辺地域の資源を活用し、地域の活性化につなげていくためには、国内外から広く観光客を誘致し、交流人口を拡大させていく必要があります。

このような優れた資源があることを、多くの人に知っていただくとともに、訪れたことがない方々が小鹿溪・三徳山周辺地域を訪れたいと思ってもらえる情報発信が必要です。



名勝 小鹿溪（神倉地区）



俵原牧場（俵原地区）

4. 計画の基本方針

小鹿溪・三徳山周辺地域の地域振興・観光振興方策を総合的かつ計画的に推進するため、地域が目指す将来像と基本理念、基本方針を設定します。

1) 小鹿溪・三徳山エリアの目指す将来像

整理した現状と課題を踏まえ、小鹿溪・三徳山周辺地域の活用と保全に向けた将来像として、『癒やしとにぎわいあふれる、水と緑の回廊“小鹿溪・三徳山”』を掲げます。

小鹿溪・三徳山周辺エリアは、三徳山を中心に三徳川・小鹿川が取り囲むように流れており、「川と森」が調和した美しい“水と緑の回廊”を形成しています。

また、三徳山の周辺地域では、古来より山岳信仰の聖地として自然・風土に根づいた歴史・文化資源を数多く生み出すとともに、信仰の対象であった三徳山は、人々との生活に密接にかかわることで希少な自然環境を良好な姿で残しています。このような「文化と自然」が調和した素晴らしい景観は、三徳山の神秘性を生み出し、多くの人々が崇拜し、訪れる場所として“地域の癒やし、にぎわい”となっています。

こうした人と自然とのかかわり方を再認識し、地域資源の活用と保全を進めることで、三徳山からあふれる癒やしの力を地域全体に波及させていきます。また、点在する地域の資源を“水と緑の回廊”によりネットワーク化し、地域の資源として一体性をもたせることで小鹿溪・三徳山周辺地域のにぎわいに広がりをもたせ、地域活力の向上につなげていきます。

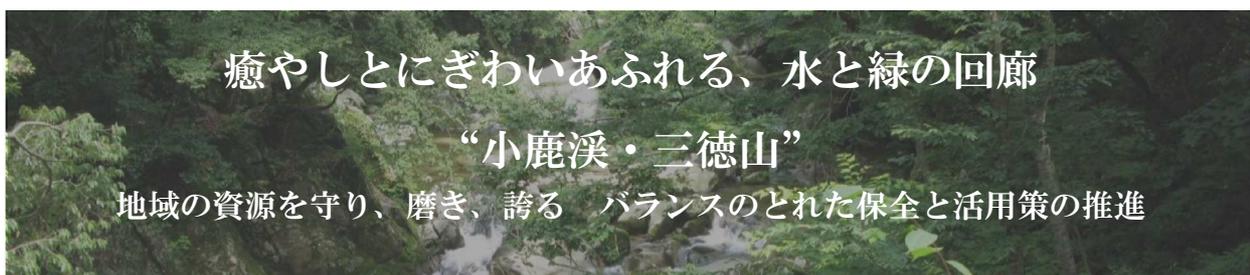
2) 本計画の基本理念・基本方針

小鹿溪・三徳山周辺地域の将来像「癒やしとにぎわいあふれる、水と緑の回廊“小鹿溪・三徳山”」を具現化していくためには、相反する関係にある「癒やしとにぎわい」および「地域資源の保全と活用」を同時に考えていく必要があります。

そのため、地域に点在する資源を“郷土の誇り”と再認識し、次世代にその姿を引き継ぐとともに、その価値を理解し国内外に発信していく必要があると考えます。また、資源の保全と活用に向けては、潜在された資源の価値を顕在化し、磨きをかけていくことが必要であると考えます。

以上より、本計画の基本理念を「バランスのとれた保全と活用策の推進」とし、地域の資源活用に向け、将来像を具現化する基本方針として「地域の資源を守る」「地域の資源を磨く」「地域の資源を誇る」とします。

■ 小鹿溪・三徳山周辺地域の目指すべき将来像・基本理念・基本方針



基本方針1「地域の資源を守る」

小鹿溪・三徳山周辺地域の自然・文化・歴史・景観といったさまざまな魅力をもった地域の資源を将来に誇りを持って継承するため、地域の資源の価値を再認識し、地域一体となって保全します。

基本方針2「地域の資源を磨く」

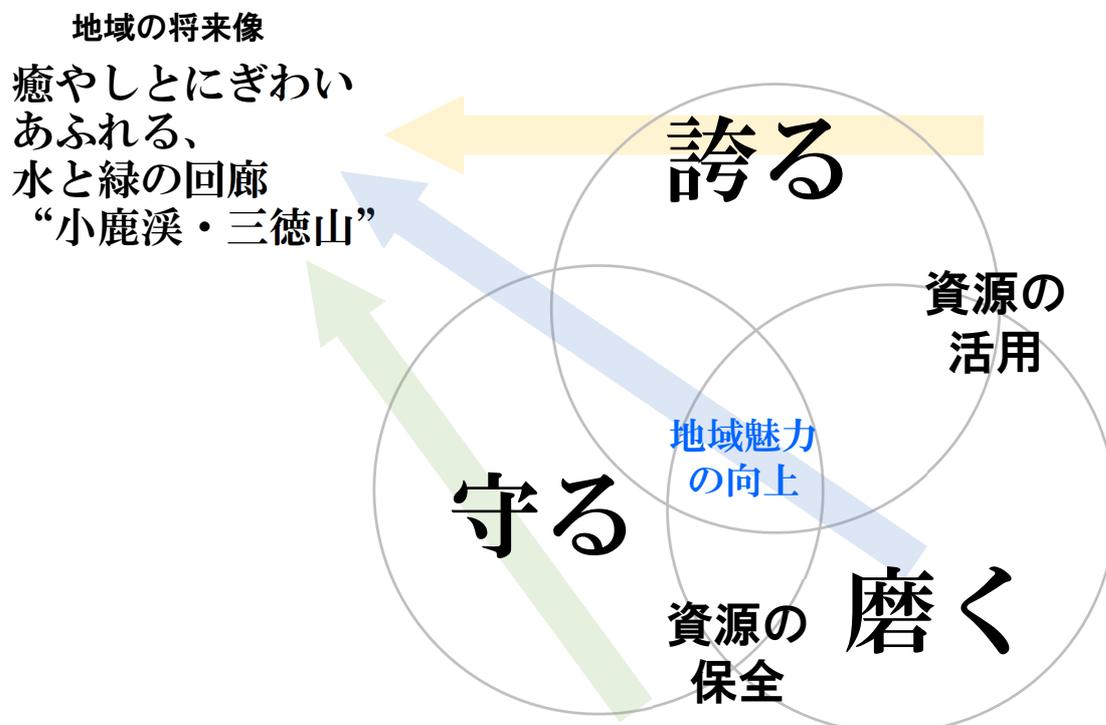
小鹿溪・三徳山周辺地域の豊かな地域資源を最大限に活用できるように、またこれから増加する来訪者の増加に対応できるように、地域の資源の保全と活用のバランスを図りながら地域全体の魅力向上につながる環境をつくります。

また、小鹿溪・三徳山周辺地域に点在する資源の一体性をもたせるために、地域の連携を強化します。

基本方針3「地域の資源を誇る」

新たな「癒やしとにぎわい」につながる地域の資源を世界に誇れる一級品の観光資源として活用し、多くの人を小鹿溪・三徳山周辺地域に呼び込むため、地域のもつ優れた魅力を国内外に広く発信します。

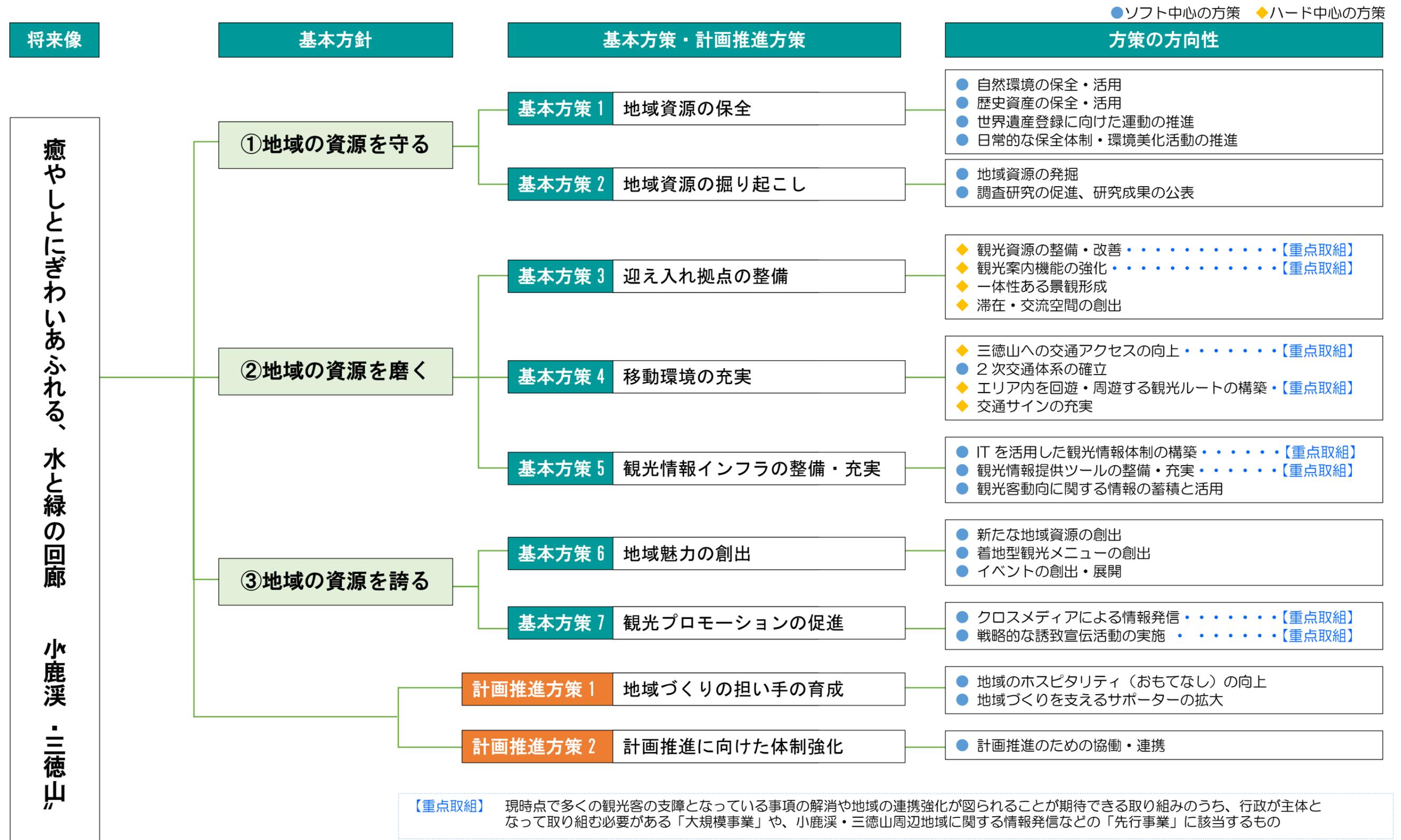
■ 小鹿溪・三徳山周辺地域の保全と活用の概念



基本理念：バランスのとれた保全と活用策の推進

■ 方策の体系

小鹿溪・三徳山周辺地域の地域資源の保全と活用を多面的かつ戦略的に推進し、将来像を実現に向けた方策として、次の7つの基本方策と方策の実現に向けた2つの計画推進方策を設定します。



5. 基本方策

小鹿溪・三徳山周辺地域の地域資源の保全と活用を多面的かつ戦略的に推進し、地域の将来像を実現するために、基本方策について「かかわることが想定される主体」と「基本方策の方向性」を示します。

■想定される主体

各方策を展開していくうえでは、地域の住民をはじめ、さまざまな関係機関・団体が直接的あるいは間接的にかかわりながら、事業を推進していくことが想定されます。ここでは、実現化に向けて想定される関係主体を以下の区分で整理します。

区分	想定される主体の例
地域住民・地域団体	地域住民、三徳地域協議会、小鹿地域協議会
民間事業者	観光事業者（宿泊施設・飲食施設・旅行代理店など） 商工事業者、交通事業者など
観光関係団体	鳥取県観光連盟、三朝町商工会、三朝温泉観光協会、 三朝温泉旅館協同組合など
専門家・活動団体	大学などの学校法人、各種 NPO 団体・同好会 日本遺産三徳山三朝温泉を守る会など
行政	国（環境省、林野庁、文化庁、国土交通省など） 鳥取県・三朝町・倉吉市や鳥取市など近隣市町

■基本方策の方向性

地元団体・観光団体・商工関係団体・大学などの有識者・行政関係部局からいただいた意見に基づき、それぞれの方策を展開していくうえでの目的や方向性、実施方針などを方策ごとに整理しています。

基本方針1 「地域の資源を守る」

基本方針1 地域資源の保全

■想定される主体

地域住民・団体、専門家・活動団体、行政 など

■基本方針の方向性

①自然環境の保全・活用

小鹿溪・三徳山周辺地域一帯は、大山隠岐国立公園、三徳山東郷湖県立自然公園の区域に指定されており、優れた風景やそこに生息する動植物を保護するための保全体制が図られています。

水と緑の美しい自然環境と文化歴史が織り成す優れた景観を誇る地域として、官民連携による保全体制を構築し、自然資源の適正な活用を促進しながら、豊かな資源を適切に次世代へと引き継いでいきます。

②歴史資産の保全・活用

小鹿溪・三徳山周辺地域は、世界に誇れる三徳山の文化財や歴史的建造物、地域に伝わる伝統文化など「日本遺産に認定された一級品の歴史資産」を有する地域です。

高い価値を有する三徳山の歴史資産の保護・継承を基本としながらも、地域独自の優れた資源として、観光や地域づくりに積極的に活用し、地域の魅力向上へとつなげていきます。

③世界遺産登録に向けた運動の推進

世界遺産暫定一覧表記載資産候補として継続審議とされた三徳山一帯の資産は、世界的にも顕著で普遍的な価値を誇る資源です。

三徳山一体の資産を次世代へと誇りをもって確実に継承していくために、これからも三徳山の世界遺産登録に向けた運動を地域一体の活動として推進します。

④日常的な保全体制・環境美化活動の推進

小鹿溪・三徳山周辺地域では、地域の住民や団体が主体となって取り組む一斉清掃や、官民連携による沿道での植樹植栽などの活動が行われており、地域に根付いた保全体制が根付き始めています。

地域の日常的な保全活動・環境美化活動への参加者の増加を目指すとともに、ボランティアや関係機関と連携しながら、草の根レベルでの活動展開、世代を超えた保全意識の醸成を図っていきます。



小鹿溪・三徳山周辺地域に見られる代表的な動物

■想定される主体

地域住民・団体、専門家・活動団体、行政 など

■基本方策の方向性

①地域資源の発掘

豊かな自然と開山 1300 年の歴史を誇る三徳山の周辺には、観光名所や文化財としてはあまり認知はされていない隠れた地域の魅力がまだまだ眠る地域です。

地域の住民や関係団体などと連携しながら、新たな地域の誇りや魅力につながる地域の資源を掘り起こしていくとともに、今ある地域の資源についても整理・再認識していくことで観光資源としての魅力を引き出し、活用につなげていきます。

②調査研究の促進、研究成果の公表

鳥取県を代表する貴重な文化財の宝庫である三徳山は、これまで大学などの研究者や専門家などと協働して学術的な研究が行われている地域です。適切な地域の資源の保全と活用に向けては、今後も地域の自然環境・歴史・文化資産などに関する調査・研究の推進を図り、地域がもつ顕著で普遍的な価値を証明していくことが求められます。

三朝町や鳥取県などの行政と専門家や関係機関との連携を図り、小鹿溪・三徳山周辺地域を対象とした調査・研究を推進していくとともに、調査研究成果を学術調査報告書としてとりまとめていきます。また、学術調査研究をわかりやすく咀嚼し、地域内外に向けて公表していくことで、地域の資源について正しい価値の伝承と、地域の資源の保全活用に向けた専門知識の習得を促します。



修験道の祭祀遺跡が残される「冠岩」(神倉地区)

基本方針 2 「地域の資源を磨く」

基本方針 3 迎え入れ拠点の整備

■想定される主体

観光関係団体、商工会・民間事業者（宿泊施設・飲食施設）、行政 など

■基本方針の方向性

①観光資源の整備・改善

増加する観光客の来訪や、多様化する観光ニーズに対応するため、駐車場や休憩施設など観光客の支障となっている観光施設を改善するとともに、観光の拠点となる施設の機能強化を図り、観光客を迎え入れる体制を整備します。

また、お年寄りから子どもまですべての人が安心かつ気軽に小鹿溪・三徳山周辺地域を観光できる施設など、地域の新たな魅力となる環境づくりを推進します。

②観光案内機能の強化

現在、観光客に対する情報発信施設として三徳地区に三徳山休憩舎（ビジターセンター）、三朝温泉街に「ほっとプラ座（三朝温泉観光案内施設）」が整備されています。

「三徳山休憩舎」や「ほっとプラ座」を小鹿溪・三徳山周辺地域における観光案内サービスの総合窓口と位置付け、地域の見所や過ごし方が提案できる施設として、ソフト・ハードの両面からインフォメーション機能の強化を図ります。

③一体性ある景観形成

小鹿溪・三徳山周辺地域には、三徳山がもつ自然の風致、信仰の山としての神秘性、中国地方ならではの農村風景の地域イメージの波及や観光資源としての一体性を創出するために、三徳山周辺の標識やガードレールなどの修景整備を進め、良好な景観を魅力ある沿道景観の形成に努めます。

④滞在・交流空間の創出

増加する外国人観光客や長期滞在などの観光ニーズに対応していくためには、ゲストハウスや交流施設が求められる一方で、小鹿溪・三徳山周辺地域にはこうした施設が不足しています。

小鹿溪・三徳山周辺地域における滞在型の観光を推進していくために、長期滞在などのニーズに対応できる宿泊施設や来訪者と地元が交流できる環境づくりを推進します。



ビジターセンターの役割を担う三徳山休憩舎（三徳地区）

基本方策 4 移動環境の充実

■想定される主体

観光関係団体、民間事業者（交通事業者）、行政 など

■基本方策の方向性

①三徳山への交通アクセスの向上

小鹿溪・三徳山周辺地域に訪れる観光客の多くは自家用車で来訪しています。

広域から小鹿溪・三徳山周辺地域を訪れる来訪者の利便性の向上と自動車での安全な移動を確保するため、小鹿溪・三徳山周辺地域にアクセスする主要道路の機能強化・交通難所の解消を進めます。

②2次交通^{※1} 体系の確立

首都圏などの遠方から小鹿溪・三徳山周辺地域を訪れる観光客は、鉄道や飛行機などの公共交通を利用して訪れています。

交通拠点（空港・駅）から三徳山への円滑な移動手段の確保するため、既存公共交通ネットワークと連携しながら、公共交通の充実と交通結節点における乗継のシームレス化^{※2}（円滑化）による利便性の向上を図ります。

③エリア内を回遊・周遊する観光ルート構築

小鹿溪・三徳山周辺地域の観光資源は点在しており、地域の一体性や地域間の連携が地域振興観光振興の大きな課題として挙げられます。

小鹿溪や三徳山の周辺に点在する地域資源を一体の観光資源と活用するため、登山道や地域連絡路線など地域間を周遊できる観光ルートを整備し、地域内の連携強化を図ります。

④交通サインの機能強化

小鹿溪・三徳山周辺地域に初めて訪れる観光客を目的地まで誘導するためには、交通サインが重要なツールとなる一方で、交通サインの乱立は優れた景観形成を損ねる可能性があります。

観光客の周遊力の強化と目的地までの円滑な移動を促すために、来訪者の視点に立ったわかりやすい交通サインの戦略的な導入を推進します。



「5カ国語に対応した三徳山案内看板」と「景観に配慮したガードレール」（三徳地区）

※1) 2次交通

空港や鉄道駅（1次交通の発着場）から観光地など目的地までの交通手段のこと。具体的には、駅や空港から発着するシャトルバスや、バス停など公共交通発着地から自由周遊できるレンタル自転車サービスなど。

※2) シームレス化

利用者が複数の交通サービスを違和感なく統合して利用するために、物理的または心理的な交通のシーム（繋ぎ目）を解消すること

基本方策5 観光情報インフラの整備・充実

■想定される主体

地域住民・団体、観光関係団体、民間事業者（宿泊・飲食施設、交通事業者）、
専門家・活動団体、行政 など

■基本方策の方向性

① IT※1 を活用した観光情報提供体制の構築

スマートフォンやタブレットの普及により、多くの観光客は、事前情報を入手するため、観光情報媒体としてインターネットを利用しています。

いつでも、どこでも、簡単に観光客のニーズにあったきめ細かな情報がわかりやすく入手できるように、地域の情報を一元化した観光ポータルサイト※2の整備など、IT活用による観光情報提供システムを構築します。

また、小鹿溪・三徳山周辺地域の観光に必要なさまざまな情報を円滑かつ的確に提供していくために、地域全体での観光情報を共有し、情報化に対応した官民連携の仕組みづくりに努めます。

②観光情報提供ツールの整備・充実

小鹿溪・三徳山周辺地域へ初めて訪れる観光客が地域の資源の魅力に関する情報を正しく理解するためには、パンフレットやガイドマップなどの観光情報提供媒体の充実を図り、地域の魅力をわかりやすく伝えることが必要です。

小鹿溪・三徳山周辺地域に訪れる観光客の目的・ニーズにあった観光情報提供ツールを充実させ、観光客の思い出に残る旅行の演出を支援します。

また、今後増加が予想される外国人観光客が快適に観光できるように、解説板やパンフレットなどの多言語化を推進します。

③観光客動向に関する情報の蓄積と活用

地域の豊かな観光資源を活用し、観光客が満足できる質の高い観光サービスを提供していくためには、絶えず変化する観光客のニーズを的確に把握していくことが必要です。

三徳山や三朝温泉に訪れる観光客の属性やニーズに関する調査を実施し、観光関係者へ情報提供することにより今後の観光サービスの改善と新たな観光資源の創出につなげます。



三徳山ガイドマップと大山隠岐国立公園ポケットガイド（英語版・韓国語版）

※1) IT

Information Technology（情報技術）の略。

※2) ポータルサイト

インターネットの入り口または玄関口となるウェブサイト。

基本方針3 「地域の資源を誇る」

基本方策6 地域魅力の創出

■想定される主体

地域住民・団体、観光関係団体、商工会・民間事業者（宿泊・飲食施設・交通事業者）、
専門家・活動団体、行政 など

■基本方策の方向性

①新たな地域資源の創出

小鹿溪・三徳山周辺地域では三徳山の三仏寺観光や修験道の参拝登山が観光客の魅力として集客を誘引しています。今後は「三徳山」ならではの魅力を検証し、新たな地域の魅力を創出していく必要があります。

観光客を受け入れる側の地域（着地側）が、地域特有の豊かな自然・歴史・文化といった地域資源をブラッシュアップ（磨き上げ）し、新たな観光資源の創出や地域独自の特産品の開発など地域魅力の向上につなげます。

②着地型観光^{※1}メニューの創出

近年の観光客におけるニーズの多様化により、地元の人しか知らないような観光ポイントや楽しみ方が求められており、着地側からの観光メニューの提供が見直されています。

地域の資源を最大限に活用し、ガイドツアーや体験型観光プログラムなど地域ならではの独自の観光メニューを充実させることにより、来訪者の選択肢の充実と満足度の向上を図ります。

③イベントの創出・展開

観光地でのイベントは、観光客が地域へ来訪するきっかけとなるとともに、観光客と地域が交流できる機会を創出することができ、効果的な地域魅力の向上へとつなげることができます。

多くの来訪者が気軽に参加し、来訪者と地域とが交流しながら共に楽しめる新たなイベントを企画するとともに、地域の魅力となっている既存のイベントが継続して開催できるように支援します。



地域の味「とちもち」



三徳山ライトアップ（三徳山開山1300年記念）

※1) 着地型観光

都市部などの出発地の旅行会社で企画・造成される「発地型」と呼ばれる観光商品に対し、旅行目的地（着地）側が主導で旅行商品を企画・造成する観光。

■想定される主体

地域住民・団体、観光関係団体、観光関連事業者、商工会、行政

■基本方策の方向性

①クロスメディア ※1 による情報発信

小鹿溪・三徳山周辺地域は、数多くの魅力的な資源を有した地域である一方で、地域全体の魅力を総合的に発信できるブランドイメージが不足しています。

小鹿溪・三徳山周辺地域のイメージアップや認知度の向上に向け、地域の価値や魅力に関する情報を電子媒体、紙媒体、放送媒体など、多様な媒体を活用しながら、国内外へ広く発信していきます。

②戦略的な誘致宣伝活動の実施

三徳山の日本遺産認定により、今後は国内外から広く観光客を誘致していくことが求められています。

地域にかかわるすべての人が地域の魅力を売り込むセールスマンであるという視点に立ち、多様な誘致宣伝活動を関係機関と連携しながら展開します。

また、日本遺産である三徳山・三朝温泉の知名度を活用しつつ、近隣地域の観光資源と連携した誘致宣伝活動に取り組むことで、広域的な観光魅力の創出、地域一体としての観光客の受入拡大へとつなげます。



※1) クロスメディア

ある情報に対し、テレビ、新聞、インターネットなど複数の媒体を用いて、相互作用をねらう表現方法。

6. 推進方策

計画の推進に向け、基本方策を支え推進していくために、必要な方策と推進体制についての基本的な方向性を整理します。

1) 計画推進方策

計画推進方策 1 地域づくりの担い手の育成

■想定される主体

地域住民・団体、観光関係団体、民間事業者（宿泊・飲食施設）
専門家・活動団体、行政 など

■計画推進方策の方向性

①地域のホスピタリティ（おもてなし）の向上

地域の将来像である“癒やしとにぎわいあふれる小鹿溪・三徳山”の実現に向けて質の高い地域づくりを進めていくためには、その地域に住む人たちがおもてなしの心をもって、その地域の実情にあった地域づくりを推進していく必要があります。

地域協議会や地元関係者などと連携しながら、観光ガイドや地域づくりの核となる人材の育成・発掘に取り組みます。

また、地域のホスピタリティ意識（おもてなしの心）の醸成を図るため、地域の魅力に関する知識の定着を図るとともに、学んだ知識を発信する場、実際に地域づくりに参画する場を創出します。

②地域づくりを支えるサポーターの拡大

地域の将来像である“癒やしとにぎわいあふれる小鹿溪・三徳山”の実現に向けて質の高い地域づくりを進めていくためには、地域住民をはじめ、地域内外の多くの人々が地域づくりに参加し、連携・協力していくことが不可欠です。

小鹿溪・三徳山周辺地域にかかわるすべての人たちが、地域に愛着と誇りを持って持続的に地域づくりへ取り組めるように、地域の活動に参加しやすい仕組みづくりを進め、地域を担うサポーターを育成します。



生涯学習講座「三朝大学」



地域による三徳山参道での清掃活動（三徳地区）

■想定される主体

地域住民・団体、観光関係団体、専門家・活動団体、行政 など

■計画推進方策の方向性

①計画推進のための協働・連携

本計画を戦略的かつ確実に推進していくためには、地域づくりの担い手となる地域住民をはじめ、関係団体、専門家、行政機関など多様な主体が、各取り組みの方向性や情報を共有しながら密接に連携し、それぞれの知識やノウハウを活用しながら協働できる体制を構築していくことが求められます。

各取り組みの効率的な実施、効果的な方策展開を推進するため、三朝町が中心となり、計画の進捗状況を確認し、必要に応じて関係組織と連携・調整を図り、年に1回程度の調整会議を開きます。



2) 取り組み主体の役割

計画の推進にあたっては、地域住民をはじめ、さまざまな関係機関がそれぞれの役割を明確化し、各取り組みを協働していくことが必要です。

(1) 地域住民・地域団体の役割

地域の担い手として、住民一人ひとりが小鹿溪・三徳山周辺地域の自然や歴史といった地域の資源に対する愛着と誇りを持つとともに、国内外からの来訪者に対して「おもてなし」の心で接するように努め、「癒やしとにぎわいあふれる小鹿溪・三徳山」に向けた魅力ある地域づくりを推進していくことが必要です。

また、日本遺産三徳山三朝温泉を守る会や地域協議会などの住民団体がつながることにより、多様な資源を活用した地域づくりの取り組みについて積極的に参画し、地域一体となった魅力づくりを推進していくことが期待されます。

(2) 民間事業者の役割

小鹿溪・三徳山周辺地域を訪れる観光客に対するおもてなしの最前線であるという意識のもと、観光客や地域住民に対し、地域独自の商品やサービスを提供し、顧客満足度の向上に努めていくことが求められます。また、これまでは直接的には観光事業とかわりの少なかった業種の事業者・従業者においても、計画の推進により生まれた恩恵を地域全体で享受できるように、地域とのかかわりを意識しながら、異業種間での連携や地域社会への貢献に努めていくことが求められます。

(3) 観光関係団体の役割

地域に関する情報発信の中心的な役割を担い、地域の資源の魅力を観光客に提供するとともに、マーケティングによる情報の収集と観光事業者への情報提供を行い、観光事業者や商工関係者が実施する取り組みをサポートしていくことが求められます。

地元の観光団体は、地域固有の観光資源の維持、発掘や磨き上げ、受入対応やおもてなし向上など、観光振興の役割を担います。

また、広域観光推進組織は広域のメリットを生かし、小鹿溪・三徳山周辺地域の観光資源と各地域の観光資源を結びつけた魅力づくりや、各地域の観光情報を一括して圏域外に発信し、誘客宣伝活動を行っていく役割を担います。

(4) 活動家・専門団体の役割

地域資源の適切な保全や、地域づくりの重要なサポート役として、今後も引き続き地域における活動を積極的に推進していくことが求められるとともに、地域との交流を通じ、地域の魅力や価値を広く周知していくことが求められます。

(5) 行政の役割

国、鳥取県、三朝町といった行政は、地域資源の保全体制や地域づくりの基盤の整備を進めていくとともに、地域住民や事業者、観光関係団体などの自主的な取り組みを積極的に支援することで、地域の特性を生かした観光振興策を推進していくことが求められます。

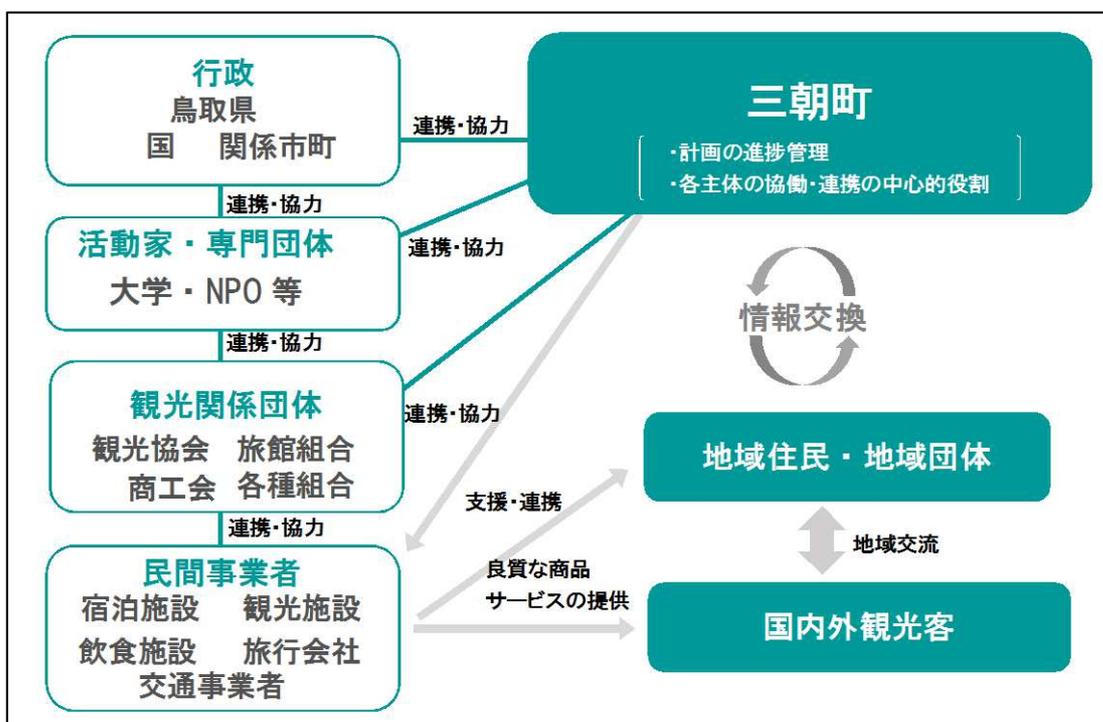
また、三朝町は、計画推進体制の中心として関係機関と連携し、地域の魅力増進に関する情報の収集や全体の計画の進捗管理を年1回程度調整会議によって行い、来訪客や地元のニーズに対応した行政サービスの提供と関係機関との情報共有に努め、本計画を推進します。

(6) 主体間の連携

地域住民、観光事業者、行政などが相互の信頼関係に基づき、連携し協働で本計画の実現を図っていくことが重要です。このため、本計画の内容や地域振興、観光振興に対する認識、観光客ニーズに関する情報などを共有するとともに、意見交換や事業間の調整を行いながら取り組んでいく必要があります。

さらに、広域的なプロモーションや観光ルート形成などの広域的な戦略については、とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会や鳥取中部ふるさと広域連合などと連携しながら取り組むことが期待されます。

■計画推進に向けた連携体制



7. 計画の実現に向けて

1) 計画の実現に向けたアイデアの具体化

本計画は、小鹿溪・三徳山周辺地域の観光振興・地域振興を目的に、地域の将来像やその実現に向けた取り組みの方向性・基本的な考え方をまとめた計画です。将来像の実現に向けた各方策の発展や具体的な取り組みに向けては、各関係主体が連携・調整し、どのように計画を進めていくかについて、より詳細な検討を進めていくことが必要です。

本計画の策定にあたっては、これまで、小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会により、具体的な計画の方策が検討されてきました。本計画の参考資料に各委員から提案された取り組みのアイデアを記載するとともに、計画の実現に向けて具体化されたアイデア（これから取り組む主な事業）を整理しています。

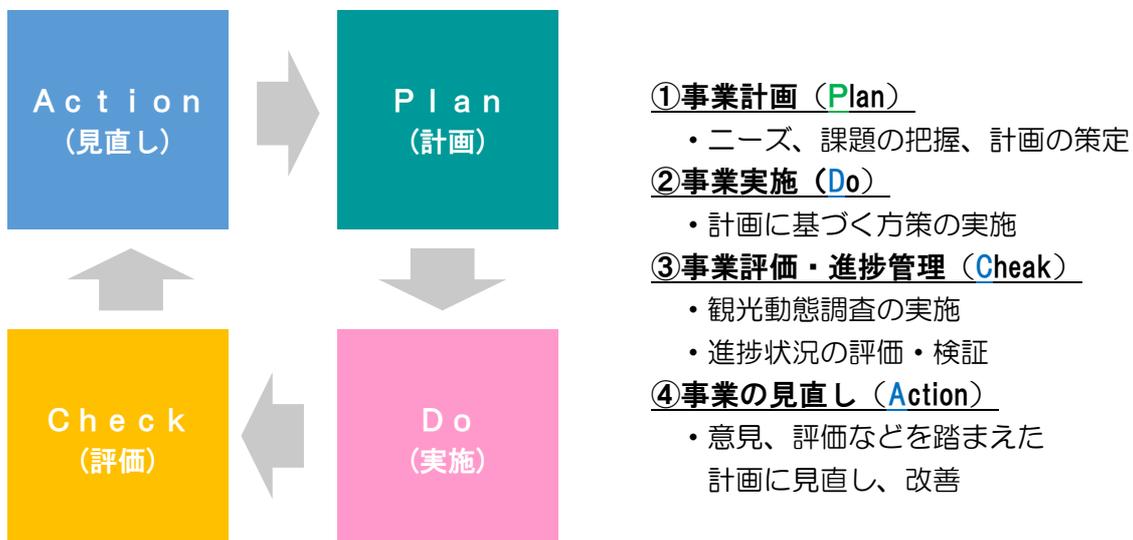
今後、将来像の実現に向けては、三朝町が計画推進の中心的な役割を担うとともに、地域住民・地域団体・専門家などに引き続き広くアイデアを募集し、提案されたアイデアの具現化に向けた検討および調整を継続して進めていきます。

2) 計画の進捗管理と見直し

本計画に基づき、各主体が方策を推進していくことにより、小鹿溪・三徳山周辺地域の観光を取り巻く状況は、今後も変化していくことが予想されます。地域の資源を活用し、質の高い地域づくり、観光振興を図るうえでは、各取り組みを持続的に実施していくとともに、状況の変化や地域の提案などに対応できる柔軟な取り組みや計画の見直しが必要となります。

本計画に基づく方策の実施に際しては、観光入込客数の把握やアンケート調査など観光客の動態やニーズに関する数量データを継続的に収集し、方策に基づく事業の効果を検証・評価するとともに、以下のような「PDCA サイクル」を構築し、方策の実施・評価・見直しを進めていきます。また、本計画が確実に推進していけるように、計画の進捗状況を随時公表していく体制についても、今後、三朝町を中心に検討を進めていきます。

■ PDCA サイクルのイメージ



資料編

1. 計画推進のためのプログラムとアイデア

1) 将来像の実現に向けた主な取り組み

小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画の各方策に基づき、計画で掲げた将来像の実現に向けて、「基本方策の方向性」と「想定される関係主体」、「具体的な動き、これからの取り組み」や「実施時期」、「事業種別」について整理します。

「想定される関係主体」

- 各方策の方向性に基づいて、実際の取り組みを進めていく場合、直接的あるいは間接的にかかわってくることが想定される主体を以下の区分で整理し、実施主体（取り組みの中心となるもの）、支援主体（実施する取り組みを支援したり、啓発したり、補助したりするもの）、協力主体（取り組みの協力者）で分類しています。ただし、これらは現段階での想定であるため、個々の取り組みを実施する場合において見直しを図ります。

区分	想定される関係主体の例
地域住民・地域団体	地域住民、三徳地域協議会、小鹿地域協議会など
観光関係団体	鳥取県観光連盟、三朝町商工会、三朝温泉観光協会、三朝温泉旅館協同組合 など
民間事業者	観光事業者（宿泊施設・飲食施設・旅行代理店など） 商工事業者、交通事業者など
専門家・活動団体	大学などの学校法人、各種 NPO 団体・同好会 日本遺産三徳山三朝温泉を守る会 など
行政	国（環境省、林野庁、文化庁、国土交通省など） 鳥取県・三朝町・倉吉市や鳥取市など近隣市町

「具体的な動き・今後の取り組み」

- 実際に取り組みを実施していく時期（実施時期）および、その取り組みの実施する主体（事業化されていくものについては関連事業）をそれぞれ示しています。また、三徳山と三朝温泉の日本遺産認定に関連して、文化庁の交付金※「日本遺産魅力発信推進事業」により事業化を推進していくものについては「日本遺産事業」、三朝町が取り組むものについては「町事業」、鳥取県が取り組むものは「県事業」などとしています。

※日本遺産魅力発信推進事業の交付金補助対象主体は「日本遺産三徳山三朝温泉を守る会」であり、実際の事業実施主体については、その構成団体である三朝町や商工会、三朝温泉観光協会などの観光関係団体、同会や地域協議会などの団体となっています。

(1) 地域の資源を守る（将来像の実現に向けた主な取り組み）

基本方針	基本方針の方向性	想定される関係主体					具体的な動き・これからの取り組み	実施時期	事業種別（主体）	事業内容（概要）
		行政	観光関係団体	民間事業者	地域住民地域団体	活動家専門団体				
地域資源の保全	自然環境の保全・活用	●	▲	▲	▲	●	・三徳山（一部区域）の大山隠岐国立公園 大山蒜山地域への編入	平成26年編入	（環境省）	「官民連携による国立公園の適正管理体制の構築」 ・多様な主体と連携し、地域に即した協働型の公園管理運営体制を構築する。 「自然体験活動・普及啓発」 ・県民ボランティアや環境省のレンジャーと連携した自然に触れ合う体験学習を実施する。
							・大山隠岐国立公園大山蒜山地域連絡協議会※1の設立	平成27年（設立）	環境省国立公園関連事業	
							・「ふれあい自然体験教室（三徳山自然観察会）」の実施	平成27年～（新規実施）	県事業：新規	
	歴史資産の保全・活用	■	▲	▲	●	■	・三徳山の日本遺産認定	平成27年認定	（文化庁）	「三徳山関連文化財の的確な保護・継承・活用」 ・地元と連携し、修験道や無形文化遺産における保全管理の取り組みを拡大支援する。 ・歴史的価値を有する文化財や歴史的建造物の保存および、観光振興やまちづくりへの活用を推進する。
							・三徳山行者道の修理工事	継続実施	町事業：継続	
・町指定文化財の追加							継続実施	町事業：継続		
・三徳山正善院の復元整備							平成29年整備完了予定	（正善院）		
世界遺産登録に向けた運動の推進	●	■	■	▲	■	・三徳山世界遺産登録運動推進協議会の開催	継続実施	世界遺産登録運動推進協議会事業	「世界遺産登録運動の推進」 ・地域一体となった三徳山世界遺産登録運動の推進と推進協議会への活動支援により機運醸成を図る。 ※三徳山世界遺産登録運動推進協議会（平成20年発足）	
						・観光・地域団体、助言団体、行政とのワークショップの実施	継続実施			
日常的な保全体制・環境美化活動の推進	■	▲	▲	●	●	・三徳山一斉清掃、小鹿溪一斉清掃の実施	継続実施	（地域協議会）（守る会）	「小鹿溪・三徳山一斉清掃・沿道緑化活動の実施」 ・環境省のグリーンワーカー事業などを活用し、地域に根付いた地域主導で実施する沿道の植樹、花植え、維持管理活動を推進する。 ・ボランティアなどと連携し、地域一体での環境保全に対する気運醸成、普及啓発として、地域一斉清掃をはじめとした環境美化活動を推進する。	
						・ナラ枯れ防除活動、広葉樹の育林活動の実施	継続実施			
地域の資源の掘り起こし	地域資源の発掘	●	■	■	■	・生涯学習講座：三朝大学「三徳山講座」の実施	継続実施	町事業：継続	「地域の魅力探し、地域学習会の充実」 ・小鹿溪・三徳山周辺地域の隠された資源を地域とともに再認識する学習会を実施する。	
						・「三徳山をはじめとする中部圏域の文化資産に関する学習会」への助成支援	継続実施	県事業：継続		
	調査研究の促進、研究成果の公表	●	▲	▲	▲	■	・三徳山自然環境調査（三徳地内の植生調査を環境省と連携して実施）	継続実施	町事業：継続	「学術調査などへの調査指導及び調査協力」 ・鳥取県を代表する貴重な文化財の宝庫である三徳山の歴史遺産（文化財）について、鳥取県および三朝町で調査研究チームを立ち上げ、三徳山の総合的・広域的な調査研究を実施・支援する。
							・三徳山発掘調査（小鹿溪・三徳山周辺地域の遺跡・遺構発掘調査）	継続実施	町事業：継続	
							・三徳山民俗文化財調査（三徳山に関連のある石造物の調査など）	継続実施	（守る会）	
・三徳山総合調査研究報告書のとりまとめ 第1集（仏教美術・科学分析調査・山岳修験） -平成25年度刊行- 第2集（建造物・自然・地形） -平成26年度刊行- 第3集 -平成27年度刊行予定-	継続実施	町事業：継続								
・三徳山の世界遺産登録に向けた調査研究（国内外の類似資産との比較研究など）	継続実施	町事業：継続 県事業：継続								

●：実施主体（取り組みの中心となるもの） ■：支援主体（実施する取り組みを支援したり、啓発したり、補助したりするもの） ▲：協力主体（取り組みの協力者）
 ※想定される関係主体については、現段階での想定であるため、今後、個々の取り組みを実施する場合において見直しを図ります。

(2) 地域の資源を磨く（将来像の実現に向けた主な取り組み）

基本方策	基本方策の方向性	想定される関係主体					具体的な動き・これからの取り組み	実施時期	事業種別（主体）	事業内容（概要）
		行政	観光関係団体	民間事業者	地域住民地域団体	活動家専門団体				
迎え入れ拠点の整備	観光資源の整備・改善	●	▲	▲	▲	▲	・三徳山展望施設の整備	事業化検討	（三朝町）	「観光基盤の整備」 ・多くの方に三徳山の魅力を味わっていただくために、参拝登山が困難な観光客が「三徳山を気軽に体験できる施設」を整備するとともに、地域のシンボルとなるモニュメントや迎賓空間を創出する看板を整備する。 ・観光支障の改善として、三徳山の日本遺産認定により増加する観光客に対応した観光駐車場を整備する。
							・三徳山周辺駐車場の整備	事業化検討	（三朝町）	
							・史跡名勝看板の整備 ・エントランスモニュメント	平成26年整備 平成27年整備予定	県事業：新規	
	観光案内機能の強化	●	●	■	▲	▲	・三徳山休憩舎の整備	平成26年整備	（三朝町）	「情報発信拠点施設の整備」 ・三徳山休憩舎を小鹿溪・三徳山周辺地域の観光案内拠点と位置付け、三徳山へ「到達後」観光周遊しやすい環境を創出するためのツールや仕組みづくりを整備する。 ・三朝温泉街から小鹿溪や三徳山へ「出かける」三朝温泉来訪者の観光案内拠点として、小鹿溪や三徳山の見所や過ごし方が提案できるように、三朝温泉街の観光案内施設の機能強化を図る。
・三朝温泉観光案内施設（ほっとプラ座）の機能強化							未定	日本遺産事業		
一体性ある景観形成	●	▲	▲	▲	▲	・周辺環境へ配慮したガードレールや標識支柱などの修景環境整備	平成27年整備予定	県事業：新規	「沿道の修景整備」 ・三徳山周辺の良好な景観を維持するために、標識・防護柵を改善する。	
滞り交流空間の演出	■	■	●	▲	▲	—	—	—	（施設整備・運営主体について継続検討する。）	
移動環境の充実	三徳山への交通アクセスの向上	●	▲	▲	▲	▲	・県道片柴バイパスの整備	平成28年整備完了予定	県事業：継続	「主要道路の機能強化、交通難所の解消」 ・広域から小鹿溪・三徳山周辺地域へ自動車で来訪する観光客の支障となる主要道路の線形不良や幅員狭小などの安全性が低い道路環境を改善する。
							・県道坂本バイパスの整備	事業化検討	（鳥取県）	
	2次交通体系の確立	■	▲	●	▲	▲	・倉吉駅と鳥取県中部の観光地を周遊するループバスの運行	継続実施	その他団体	「公共交通ネットワークの整備」 ・鳥取県中部の各地と三朝温泉・三徳山を結ぶ公共交通手段の充実と公共交通結節点における乗継の円滑化を図る。
							・三徳山早朝参拝バスの運行（三朝温泉～三徳山）	継続実施	観光協会 旅館協同組合	
							・バス待合所の整備（三徳山休憩舎）	平成26年整備	（三朝町）	
	エリア内を回遊・周遊する観光ルートの構築	●	▲	▲	▲	▲	・小鹿溪と三徳山を結ぶ連絡登山道の整備（合谷～三徳山山頂～神倉ルート）	事業化検討	未定	「新規登山道の整備」 ・小鹿溪と三徳山の両地区を周遊する連絡登山道の整備を検討する
・林道 波関。俵原線の整備							平成29年整備完了予定	県事業：継続 町事業：継続	「地域連絡路線の整備」 ・エリア内の周遊や地域連携を図るための連絡道の整備を検討する。	
・林道 俵原中津線の整備							事業化検討	（鳥取県・三朝町）		
交通サインの機能強化	●	▲	▲	▲	▲	・既設案内標識の多言語、観光案内機能の付加	平成27年整備予定	県事業：新規	「交通サインの案内機能の強化」 ・観光資源を相互に案内する交通サインの導入および来訪者の視点からわかりやすい、多言語に対応した交通サインを導入する。	
観光情報インフラの整備・充実	ITを活用した観光情報提供体制の構築	■	■	▲	▲	▲	・日本遺産紹介ポータルサイトの整備	未定	日本遺産事業	「観光ポータルサイトの整備」 ・IT活用による観光情報提供システムを構築し、小鹿溪・三徳山周辺地域の観光情報を集約、一元化した観光ポータルサイトを整備する。
	観光情報提供ツールの整備・充実	■	■	■	▲	■	・ポータルサイト、観光パンフレットの多言語化	未定	日本遺産事業	「観光情報媒体の多言語化」 ・多言語化・多文化に対応したホームページ・パンフレットなどを整備する。
							・QRコード*2を活用した案内看板の設置	未定	日本遺産事業	「観光案内板の機能強化」 ・スマートフォンなどの携帯端末利用と連携することにより、地域の資源に関するきめ細かな情報が入手できるような案内看板に更新する。
							・「大山隠岐国立公園・三徳山ガイドマップ」の作成	平成26年作成	（鳥取県）	「散策マップの作成」 ・地域の隠れた見所やご当地グルメなど、観光客の新たな地域の魅力発見を支援するツールの整備・充実を図る。
観光客動向に関する情報の蓄積・活用	■	■	■	▲	▲	・三徳山・三朝温泉来訪者へのアンケート調査	未定	日本遺産事業	「観光客動向に関する情報の蓄積・活用」 ・三徳山や三朝温泉に訪れる観光客のニーズや動向を把握するためのアンケート調査や観光客数調査の実施、ニーズ調査を実施、観光客の満足した点・不満だった点などのデータを蓄積・活用する。	
						・日本遺産モニターツアーの実施	未定	日本遺産事業		
						・外国人観光客の需要調査の実施	未定	日本遺産事業		

●：実施主体（取り組みの中心となるもの） ■：支援主体（実施する取り組みを支援したり、啓発したり、補助したりするもの） ▲：協力主体（取り組みの協力者）

※想定される関係主体については、現段階での想定であるため、今後、個々の取り組みを実施する場合において見直しを図ります。

(3) 地域の資源を誇る（将来像の実現に向けた主な取り組み）

基本 方策	基本方策の方向性	想定される関係主体					具体的な動き・これからの取り組み	実施 時期	事業種別 (主体)	事業内容 (概要)
		行政	観光関係 団体	民間 事業者	地域住民 地域団体	活動家 専門団体				
地 域 魅 力 の 創 出	新たな地域資源の創出	■	●	●	▲	■	<ul style="list-style-type: none"> 三徳山のご当地料理メニューの開発とPR（精進料理を活用した「行者どんぶり」など） 「三徳山関連グッズ」の作成（投入堂ポスター、仏像フィギュアなど） 	継続実施	(商工会など)	「食の魅力の発信、地域独自の特産物の開発」 ・地大豆「三朝神倉」やとちの実を活用した「とちもち」「とちようかん」など三徳山の食を活用したオリジナルの特産物や、三徳山ブランドの土産商品開発・PRを推進する。
	着地型観光メニューの創出	■	●	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> 三徳山三朝温泉ガイドの創設 日本遺産体験ツアーの実施 	未定	日本遺産事業	
	イベントの創出と展開	■	●	■	●	▲	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングイベントの実施（三徳山ウォークなど） 	継続実施	(守る会)	「地域の祭り、多様なイベントの開催」 ・地域とのふれあいを生み出す交流イベント、にぎわいを創出する産直市を新たに創出するとともに、地域に根付いた伝統行事、観光イベントの拡充を図る。
							<ul style="list-style-type: none"> 地元による軽トラを活用した産直市の開催 	未定	(地域協議会)	
<ul style="list-style-type: none"> 三徳山「日本遺産」ライトアップの実施 							未定	町事業：新規		
<ul style="list-style-type: none"> 三朝温泉開湯 850 年記念関連イベントの充実（三徳山愛染明王企画など） 	継続実施	(観光協会)								
観 光 プ ロ モ ー シ ョ ン の 促 進	クロスメディアによる情報発信	●	●	■	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> 三徳山・三朝温泉日本遺産認定の普及啓発媒体作成（ポスター・チラシ・映像資料など） 	未定	日本遺産事業	「観光情報媒体を活用した地域情報の発信」 ・観光情報誌、チラシ・ポスター・映像資料などを作成・活用し、地域に関する魅力やイベント、口コミ情報などを県内外から海外まで広く情報発信し、拡散を図る。
							<ul style="list-style-type: none"> 三朝町在住外国人による SNS^{※3} を活用した母国語（5 言語）での情報発信 	未定	日本遺産事業	
							<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県内に向けた日本遺産の普及啓発活動（例）ショッピングセンター、博物館などでの写真展の開催 倉吉駅での日本遺産認定アナウンス 	平成 27 年実施	県事業：新規	
	<ul style="list-style-type: none"> 県外に向けた日本遺産の普及啓発活動の実施（例）関西圏での三徳山関連展覧会 三徳山・三朝温泉魅力発見講座 	平成 27 年実施	県事業：新規							
戦略的な誘致宣伝活動の実施	●	●	■	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県アンテナショップや高速道路サービスエリアにおける観光キャンペーンの実施 	継続実施	県事業：継続	「観光キャンペーンの展開」 ・観光振興イベントでの PR やパブリシティ ^{※4} の実施による効果的な誘致宣伝活動を実施するとともに、三朝温泉街の観光事業者と連携した観光キャンペーンを展開していく。	
						<ul style="list-style-type: none"> 航空会社などと連携した誘客プロモーションの実施 	継続実施	県事業：継続		
						<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県文化魅力発信プランナーによる首都圏や関西圏でのパブリシティ^{※4} の実施 	継続実施	県事業：継続		
						<ul style="list-style-type: none"> 海外旅行博覧会での PR、海外旅行誌への掲載依頼 	継続実施	県事業：継続	「外国人観光客の誘致（海外向け誘客プロモーションの実施）」 ・海外での日本遺産「三徳山・三朝温泉」が含まれる旅行商品の造成、販売を促進するため、旅行会社などと連携した戦略的な誘致宣伝活動を実施する。	
						<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社と連携した協働広告・旅行商品造成 海外メディア招聘視察ツアー（FAM ツアー）の実施 	継続実施	県事業：継続		

●：実施主体（取り組みの中心となるもの） ■：支援主体（実施する取り組みを支援したり、啓発したり、補助したりするもの） ▲：協力主体（取り組みの協力者）
 ※想定される関係主体については、現段階での想定であるため、今後、個々の取り組みを実施する場合において見直しを図ります。

(4) 計画推進方策（将来像の実現に向けた主な取り組み）

推進方策	計画推進方策の方向性	想定される関係主体					具体的な動き・これからの取り組み	実施時期	事業種別（主体）	事業内容（概要）
		行政	観光関係団体	民間事業者	地域住民地域団体	活動家専門団体				
地域づくりの担い手の育成	地域のホスピタリティ（おもてなし）の向上	■	●	●	●	■	・日本遺産観光ガイドの育成（ガイド育成講座の開設・ガイド向けガイドブックの作成）	未定	日本遺産事業	「観光ガイド・インタープリター ^{※5} の育成」 ・地域に根付き、自ら学び、地域の魅力や価値を来訪客に語る人材を育成・支援していく。
							・三徳山観光ガイド制度 ・三朝温泉観光ガイドマイスターの認定	継続実施	（観光協会）	
							・おもてなし研修の実施	平成27年実施	（旅館協同組合）	「核となる人材の育成・発掘」 ・地域づくりの核となる人材を地域団体・関係関連団体と連携しながら支援していく。
							・外国人観光客の受入にかかるスペシャリストの育成	未定	日本遺産事業	
							・明日の三朝町を担う人材育成支援事業（三朝キラリと光る町づくり支援交付金）による中高生が取り組む活動への支援	継続実施	町事業：継続	
							・生涯学習講座：三朝大学「三徳山講座」の実施（再掲） ・学校教育向け学習副読本・地元生涯学習教材の作成	継続実施 未定	町事業：継続 日本遺産事業	
	地域のづくりを支えるサポーターの拡大	■	■	■	■	■	■	・元気な地域づくり支援事業（三朝キラリと光る町づくり支援交付金）による地域活動への支援 ・日本遺産三徳山三朝温泉を守る会 ^{※6} の設立および地域活動支援（サポーター会員募集）	継続実施 平成27年変更改正	町事業：継続 （守る会）
計画推進に向けた体制強化	●	■	■	■	■	■	・三朝町を中心とした推進体制の構築	平成27年以降	町事業・新規	「定期の計画見直し、進捗状況の確認」 ・本計画の内容は三朝町が事務局となって関係者を収集し、計画の見直し、進捗状況の確認を年1回程度行う。 「日本遺産事業の推進」 ・本計画の内容は、三朝町が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、「日本遺産魅力発信事業」にも盛り込まれており、これらの計画の推進体制と連携・調整を図りながら、本計画の推進を図る。

●：実施主体（取り組みの中心となるもの） ■：支援主体（実施する取り組みを支援したり、啓発したり、補助したりするもの） ▲：協力主体（取り組みの協力者）
※想定される関係主体については、現段階での想定であるため、今後、個々の取り組みを実施する場合において見直しを図ります。

【用語解説】

※1) 大山隠岐国立公園大山蒜山地域連絡協議会

環境省が掲げる大山隠岐国立公園大山蒜山地域の官民連携による公園管理を推進に向け、地域の特徴を生かしたビジョンの策定、関係機関での情報共有を行うことを目的に設立された協議組織。国、地方公共団体、有識者、ガイド団体、民間団体などにより構成される。

※2) QRコード

文字や数字などのデータを二次元の図形パターンとして物体の表面や紙面に刻印・印刷する二次元コードの方式の一つで、携帯電話のアドレス読み取り機能などに利用されている。

※3) SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

Facebook や Twitter などインターネット上の交流を通じて社会的ネットワークを構築するサービス。

※4) パブリシティ

地域に関する情報を新聞社やテレビ局などの報道機関へ積極的に提供し、マスメディアで報道されるように働きかける広報活動。

※5) インタープリター

「通訳者」。自然、文化・歴史遺産と人との仲介となってわかりやすく解説を行う人。いざない人。

※6) 「日本遺産三徳山三朝温泉を守る会」

構成団体は、三朝町、三徳山を守る会、三朝温泉観光協会、三朝温泉旅館組合、三朝町商工会、三徳地域協議会、みささ村地域協議会、三徳山関連宗教法人（三仏寺・輪光院・正善院・皆成院）、地元保存会（三朝区陣所保存会）など。日本遺産認定により三徳山を守る会を拡充する形で発足。三徳山三朝温泉の日本遺産の認定を受け、三徳山・三朝温泉の魅力増進にかかわる各方策を協働しながら推進する組織。

(3) 「迎え入れ拠点の整備」に関するアイデア

三徳山を気軽に体験できる環境の整備	・参拝登山が困難な観光客が三徳山を気軽に体験できる施設の整備（投入堂模型やジオラマの設置、遥拝所や参道のバリアフリー化など）
小鹿溪を安全に体験できる環境の整備	・小鹿溪の安全な散策に必要な環境の整備（安全柵の設置、バリアフリー化）
小鹿溪・三徳山を学べる場所づくり	・地域の資源や魅力がわかりやすく理解できる環境づくり ・ビジターセンター（三徳山休憩舎）の活用推進
沿道景観の整備	・秩序ある良好な風致の形成を図るための案内看板などの集約化
ゲストハウスの起業	・外国人観光客や研究者などの長期滞在需要を喚起する古民家や集落などを活用した休憩施設や、ゲストハウス（宿泊施設）の整備・運営
宿泊型体験交流施設の整備・運営	・教育旅行や研修旅行、自然体験学習に対応できる宿泊型体験交流施設の整備・運営（三朝東小学校の跡地利用策の検討）

(4) 「移動環境の充実」に関するアイデア

2次交通体系の確立	・三徳山周遊バスの運行 ・交通結節点における観光タクシーなどの利用環境充実
自由周遊のための移動手段の充実	・観光客のニーズに応じた自転車利用環境の整備 例：サイクリングコースの設定と案内サインの設置 電動アシスト付き自転車などのレンタルサービス ・超小型自動車（EV）など新たな移動手段導入 ・ノルディックウォーキングや団体利用者のためのトイレの整備
交通サインの案内機能の強化	・統一されたトータルデザインの交通サイン導入 ・参拝案内を示す道順指示標識の設置

(5) 「観光情報インフラの整備・充実」に関するアイデア

観光情報提供の組織・仕組みづくり	・地域・行政・観光事業者が連携した情報提供体制の仕組みづくり ・観光客と地元が相互に情報交換できる仕組みづくり
観光情報媒体のデジタル化	・スマートフォンで閲覧できるデジタルパンフレットや、GPSと連携したデジタルマップなど観光客が気軽に活用できる情報提供媒体の整備・充実



田舎滞在体験施設 古民家「コミニカ」（三徳地域協議会：俵原地区）

(6)「地域魅力の創出」に関するアイデア

地域資源の結びつけ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で伝わる伝承・逸話を結びつけた新たな観光ルートの提案 ・三朝温泉とセットの「癒やし」をテーマとしたパッケージツアーの実施など、三朝温泉との連携強化
体験型観光プログラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、景観、食、癒やしの地域資源を生かした地域ならではの体験・滞在プログラムの企画・開発 例：地域住民の企画による田舎体験ツアーや手作り体験 小鹿溪の溪流を活用したアクティブ体験プログラム 教育旅行誘致を視野に入れた自然・歴史・文化の学習プログラム 六根を清め、六感を癒やすプログラム（森林セラピーなど） 子ども向けの三徳山談話プログラム
既存の祭り・イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・三徳緑御幸行列や三仏寺「炎の祭典」などのPR・情報提供 ・ホテル鑑賞会や天体観測会の実施 ・門前市によるにぎわい創出

(7)「観光プロモーションの促進」に関するアイデア

クロスメディアによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 利用者を対象としたモニターツアーの実施 ・クロスメディアによる小鹿溪の積極的なPR
メディア取材の誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> ・映画、ドラマ、CM のロケ地誘致などフィルムコミッション※1の推進
セールス・プロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本一危ない国宝鑑賞」などのキャッチフレーズのPR ・観光プロモーターなどと連携したモニターツアーの実施
教育旅行の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者、旅行エージェントなどと連携した修学旅行をはじめとする教育旅行の誘致宣伝活動実施
広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会や各市町観光協会、観光関係機関の連携による観光振興体制の整備 ・オール鳥取中部での「癒やし」をテーマとした広域観光の推進

(8)「地域づくりの担い手育成」に関するアイデア

ガイド・インタープリターの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付き、自ら学び、地域の魅力や価値を来訪客に語る人材の育成・支援 ・外部のガイドとの連携する仕組みの構築
核となる人材の育成・発掘	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する研究者や専門家と地域住民をつなぐコーディネーターの育成と活用
地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の若い人が地域活動に参加しやすい仕組みづくり

(9)「計画推進体制の構築」に関するアイデア

多様な主体の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県内の観光地域づくりに取り組む自治体との連携 ・資源の保全と活用に向けたタウンミーティングの実施
計画推進組織の設置検討	<ul style="list-style-type: none"> ・計画推進の中心的な役割を担い、事業者や観光団体、地域住民（団体）との連絡調整の役割を担う協議組織の設立

※1) フィルムコミッション

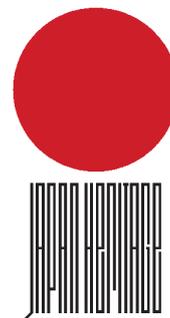
映画、テレビドラマ、CM などあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるために、さまざまなサービスを提供する窓口期間やその活動。

2. 三徳山・三朝温泉の日本遺産認定について

《六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～》

〈日本遺産（Japan Heritage）について〉

地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。



〈認定対象・認定条件〉

○ 日本遺産は、以下の点を踏まえたストーリーを認定する （文化財そのものが認定の対象となるわけではない）

- ・歴史的経緯や、地域の風土に根差し世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーであること。
- ・ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
- ・単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

○ ストーリーのタイプとしては2種類

- ・「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結。
- ・「シリアル型（ネットワーク型）」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開（複数の市町村に下記「ストーリーの構成文化財」が所在）。
⇒三徳山・三朝温泉は「地域型」の日本遺産である。

○ ストーリーの構成文化財（認定の条件）

- ・ストーリーを語るうえで不可欠な文化財群
 - ①地域の魅力ある有形・無形の文化財群を構成文化財とする。
 - ②後世文化財は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を対象とし、地方指定や未指定の文化財群も可能とする。
 - ③日本遺産のストーリーが我が国の文化・伝統を語るものであることから、文化財群の中に国指定・選定のものを必ず1つは含めることとする。

○認定申請を行うにあたっての条件

- ・認定申請を行うことができるのは、歴史文化基本構想または歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、若しくは世界文化遺産一覧表記載案件または世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件を有する市町村とする。
- ・シリアル型（ネットワーク型）の申請の場合は、必ずしも上記条件を満たす必要はない。

○ 選定基準

- ・ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。

※ ストーリーについては、以下の観点から総合的に判断する。

- ・興味深さ（人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容となっているか）
- ・斬新さ（あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出しているか）
- ・訴求力（専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか）
- ・希少性（他の地域ではあまり見られない稀有な点があるか）
- ・地域性（地域特有の文化が現れているか）

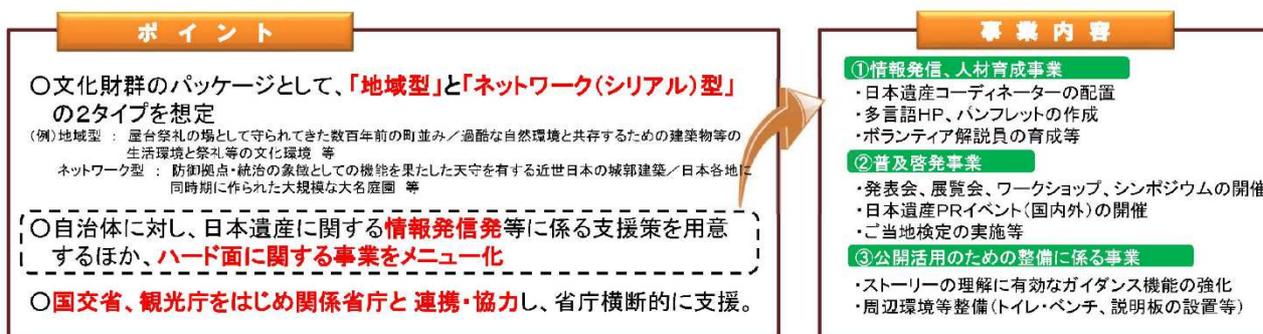
- ・日本遺産という資源を生かした地域づくりについて将来像（ビジョン）と、実現に向けて具体的な方策が適切に示されていること。
- ・ストーリーの国内外での戦略的・効果的な発信などS、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

〈認定一覧〉

- ・平成 27 年 4 月 21 日に開催された「日本遺産審査委員会」の審議を経て、83 件（40 都道府県，238 市町村）の申請のうち、18 件を平成 27 年度の日本遺産として認定する。

〈日本遺産を通じた地域活性化支援（日本遺産魅力発信事業）〉

- ・日本遺産として認定されたストーリーの魅力発信や、日本遺産を通じた地域活性化については、「日本遺産魅力発信事業」として、日本遺産に関する①情報発信・人材育成②普及啓発事業③調査研究事業④公開活用のための整備に対して文化芸術振興費補助金を交付する一など、文化庁が積極的に支援します。



※：文化庁「日本遺産」に関する公表資料を基に整理

平成 27 年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定一覧

No	都道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	茨城県・栃木県・ 岡山県・大分県	◎水戸市(茨城県)・足利市(栃木 県)・備前市(岡山県)・日田市(大分 県)	近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―
2	群馬県	◎群馬県 (桐生市, 甘楽町, 中之条町, 片品 村)	かかあ天下ーぐんまの絹物語ー
3	富山県	高岡市	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 ―人、技、心―
4	石川県	◎石川県 (七尾市, 輪島市, 珠洲市, 志賀町, 穴水町, 能登町)	灯(あか)り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～
5	福井県	◎福井県 (小浜市, 若狭町)	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～
6	岐阜県	岐阜市	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
7	三重県	明和町	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
8	滋賀県	◎滋賀県 (大津市, 彦根市, 近江八幡市, 高島 市, 東近江市, 米原市)	琵琶湖とその水辺景観ー祈りと暮らしの水遺産
9	京都府	◎京都府 (宇治市, 城陽市, 八幡市, 京田辺 市, 木津川市, 宇治田原町, 和束町, 南山城村)	日本茶800年の歴史散歩
10	兵庫県	篠山市	丹波篠山 デカンショ節ー民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶
11	奈良県	◎明日香村・橿原市・高取町	「日本国創成のときー飛鳥を翔(かけ)た女性たちー」
12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン 泉～
13	島根県	津和野町	津和野今昔～百景図を歩く～
14	広島県	尾道市	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
15	愛媛県・高知県・ 徳島県・香川県	◎愛媛県・高知県・徳島県・香川県 (各県内57市町村)	「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
16	福岡県	太宰府市	古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
17	長崎県	◎長崎県 (対馬市, 壱岐市, 五島市, 新上五島 町)	国境の島 壱岐・対馬 ～古代からの架け橋～
18	熊本県	◎人吉市・錦町・あさぎり町・多良木 町・湯前町・水上村・相良村・五木村・ 山江村・球磨村	相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里 ー人吉球磨ー

日本遺産「三徳山・三朝温泉」

《六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～》



〈ストーリーの概要〉

三徳山は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けない厳かさは 1,000 年にわたって畏怖の念を持って守られ続けている。

参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点を担った三朝温泉は、三徳山参詣の折に白狼により示されたとの伝説が残り、温泉発見から 900 年を経てもなお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根（目・耳・鼻・舌・身・意）」を清め、湯治により「六感（観・聴・香・味・触・心）」を癒やすという、ユニークな世界を具現化している。

〈ストーリーの構成文化財一覧〉

番号	文化財の名称	指定など
①	三徳山	国名勝及び史跡
②	三徳山行者道	国名勝及び史跡地内
③	三仏寺本堂	県保護文化財（建造物）
④	三仏寺文殊堂	国指定重要文化財（建造物）
⑤	三仏寺鐘楼堂	県指定保護文化財（建造物）
⑥	三仏寺奥院（投入堂）	国宝（建造物）
⑦	三徳山火渡り神事	
⑧	精進料理と三徳豆腐	
⑨	三朝温泉	
	三徳山参拝道沿いの石造物（道標）	
	株湯	町指定旧跡
	三朝のシンジョ	国指定無形民俗文化財（民俗）
	さいとりさし	県指定無形民俗文化財（民俗）
	木屋旅館	国登録有形文化財（建造物）
	木造薬師如来坐像	

3. 小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会会則

(名称)

第1条 この会則によって定める組織の名称は、小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会（以下「検討委員会」という。）とする。

(目的)

第2条 検討委員会は、三徳山地域が大山隠岐国立公園へ編入され、隣接する小鹿溪についても観光資源としてこれまで以上の期待がもたれる中、さらに地域活性化へ寄与すべく、小鹿溪を含めた三徳山周辺の観光資源としての活用策を検討するとともに、周辺環境整備について検討していくことを目的とする。

(協議事項)

第3条 検討委員会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる協議を行うものとする。

- (1) 小鹿溪・三徳山周辺の現地調査など現状把握に関すること。
- (2) 小鹿溪・三徳山周辺の観光資源としての課題の掲出に関すること。
- (3) 小鹿溪・三徳山周辺の観光資源活性化策についての検討に関すること。
- (4) 小鹿溪・三徳山周辺の環境整備に向けた検討に関すること。
- (5) 前4号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な協議。

(組織)

第4条 検討委員会は、次に掲げる者のうちから三朝町長が委嘱する委員によって組織する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 観光商工団体の役員
- (3) 関係地域協議会の会長
- (4) その他の関係団体の役員又は職員
- (5) その他町長が必要と認める者

(役員)

第5条 検討委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人

(役員を選任)

第6条 会長及び副会長は、委員の互選により選出する。

(役員職務)

第7条 会長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第8条 委員の任期は、検討委員会の目的が達成されるまでとする。ただし、第4条第1号から第4号までに掲げる団体の職にあることによって選任された役員などが、任期中にその職を離れたときは、その後任者が、これを引き継ぐものとする。

(招集)

第9条 検討委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会議の議長は、会長がこれに当たる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、特別の事情があるときは、代理者が出席することができる。

3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第10条 検討委員会の事務を処理するため、鳥取県及び三朝町の小鹿溪・三徳山周辺資源活用事務関係部局で事務局を共同運営する。

(経費)

第11条 検討委員会の経費は、三朝町一般会計歳入歳出予算に定め処理する。

(解散)

第12条 検討委員会は、その目的が達成されたときに解散する。

(委任)

第13条 この会則に定めるもののほか、検討委員会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成26年7月23日から施行する。

(経過措置)

2 第9条第1項の規定にかかわらず、最初の会議は、三朝町長が招集する。

4. 小鹿溪・三徳山周辺資源活用検討委員会名簿

NO	所属など	職名など	氏名	区分
1	鳥取大学農学部生物資源環境学科	教授	日置 佳之	有識者
2	鳥取大学地域学部地域環境学科	教授	小玉 芳敬	有識者
3	三朝町文化財保護調査委員会	委員	森本 満喜夫	有識者
4	鳥取県生活環境部緑豊かな自然課	課長	濱江 謙二	行政
5	鳥取県教育委員会埋蔵文化財センター	所長	中原 斉	行政
6	鳥取県観光連盟	事務局長	葉狩 健一	民間
7	グラウンドワーク大山・蒜山	代表	徳永 巧	民間
8	NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部	理事	吉田 良平	民間
9	鳥取昆虫同好会	会長	田村 昭夫	民間
10	三朝町立東小学校	校長	富山 秀敏	行政
11	日本遺産三徳山三朝温泉を守る会	会長	藤井 文典	民間
12	小鹿地域協議会	会長	青木 君夫	民間
13	三徳地域協議会	会長	相見 正二	民間
14	三朝温泉観光協会	会長	新藤 祐一	民間
15	三朝温泉旅館協同組合	理事長	岩崎 元孝	民間
16	三朝町商工会	会長	松原 弘文	民間
17	鳥取県中部総合事務所	所長	西山 信一	行政
18	三朝町	町長	吉田 秀光	行政

オブザーバー

1	環境省中国四国地方環境事務所 米子自然環境事務所	上席自然 保護官	有山 義昭	行政
2	林野庁近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署	署長	竹内 芳仁	行政

5. パブリックコメントの内容と対応

パブリックコメントで出された意見・要望は、以下の通りです。出された意見・要望については、「p.25②地域の意見・要望」に反映し、記載がなく、現状実施していない具体的なアイデアについては、「p.49 将来像の実現に向けたその他のアイデア」に反映しています。

小鹿溪・三徳山周辺資源活用計画（素案）に対するパブリックコメントの内容と対応

番号	意見・アイデアの要旨	対応（計画書への反映）
1	三徳山の日本遺産認定により、にぎやかになってきているようだが、小鹿溪はあまり知られていない。もう少し小鹿溪を紹介する看板・チラシ・ポスターを設置しても良いのではないかと。	P25. 地域の意見・要望に地域住民を追加。 「・小鹿溪の更なる魅力アップと PR を実行していきたい。」を「三徳山の日本遺産認定により、にぎやかになってきているようだが、小鹿溪はあまり知られていない。小鹿溪を紹介するチラシやポスターを設置するなどさらなる魅力アップと PR を実行していきたい。」に修正。 P49. 計画書（資料編）「観光プロモーション」に関するアイデアに「クロスメディアによる小鹿溪の積極的な PR」を追加。
2	駐車場（三徳山）から三佛寺までどのように歩いていくかわからず、寺に電話して道筋を伺った。 ①駐車場に三佛寺への案内図を提示してはどうか。 ②バス停留所に「参拝案内の道順支持標識」を設置してはどうか。	P23. 三徳山に対する観光客の意見・要望 「駐車場の改善」 ・対岸駐車場の場所がわかりづらい。大きな案内板が必要。 （修正） 「案内サイン解説板の改善」
3	駐車場（三徳山）の小さい案内看板では少しわかりにくく、第2駐車場へ行くところもわかりにくい。 橋の電柱に大きな案内板を設置してはどうか。事故防止のため、三徳山の路上駐車をできる限り少なくしたほうが良い。	・駐車場から三佛寺や投入堂遥拝所への案内がわかりにくい。駐車場から三佛寺への案内図や、参拝の道順を提示してはどうか。（修正） P50. 計画書（資料編）「移動環境の充実」に関するアイデアに「参拝案内を示す道順指示標識の設置」を追加。
4	投入堂参拝道とは別に、安全にハイキングができる三徳山山頂への登山ルートの整備、周遊遊歩道を整備してはどうか。 中津・冠岩に至る道もあればなお良い。	P46. 計画書（資料編）将来像の実現に向けた主な取り組みの「エリア内を回遊・周遊する観光ルートの構築」と内容が重複するため、計画書には反映しない。
5	遠方から集客できるように、三佛寺の本堂などで子どもたちの社会生活の役に立つ法話を定期的に実施してはどうか。 ホームページなどでわかりやすく開示すれば良い人が集まると思う。	P25. 地域の意見・要望 「・遠方から集客できるように、三佛寺の本堂などで子どもたちの社会生活の役に立つ法話を定期的に実施してはどうか。ホームページなどでわかりやすく開示すれば良い人があつまると思う。」を追加。 P50. 計画書（資料編）「地域魅力の創出」に関するアイデアの体験型観光プログラムの開発の例として「子ども向けの三徳山談話プログラム」を追加
6	車イス利用者や配達業者のために、三徳山本堂まで車が通れる車道を1本造ってほしい。	P50. 「迎え入れ拠点の整備」に関するアイデア「遥拝所や参拝道のバリアフリー化」に修正。

番号	意見・アイデアの要旨	対応（計画書への反映）
7	三佛寺周辺にある民間飲食施設を復活させて、特産品である三徳豆腐を販売してはどうか。	P.25. 地域の意見・要望 「・トチもちや三徳豆腐など地域の食文化を積極的に発信していきたい。」の内容と重複するため、計画書には反映しない。
8	古民家・廃旅館を利用・活用したショートステイ用の施設を設置してはどうか。冬場の集客策として、ショートステイ用の施設に付随した市場や商店があれば良いと考える。	P.50. 計画書（資料編）「迎え入れ拠点の整備」に関するアイデア「滞在施設・ゲストハウスの起業」について、「外国人観光客や研究者などの長期滞在需要を喚起する古民家や集落などを活用した休憩施設や、ゲストハウス（宿泊施設）の整備・運営」に修正。
9	千軒原（三徳山）を発着とする投入堂遥拝用のロープウェイを設置してはどうか。	P.25. 地域の意見・要望 「投入堂遥までのロープウェイを設置してはどうか」を追加。
10	ロープウェイを設置してはどうか（三徳山）。	
11	岡大跡地の利活用について、ゆっくりできるような場所を整備してはどうか。	P.25. 地域の意見・要望 「・三徳山と三朝温泉を一体と考え、三朝町に1時間でも多く滞在してもらえる環境を整備してはどうか。」を追加。日帰り温泉施設については、三朝温泉で既に整備されているため、計画書には反映しない。
12	三朝温泉を一体化と考えて、三徳、神倉、三朝とその入り口である山田なども含め、三朝に1時間でも多く滞在してもらうには日帰り温泉が良いと思う。 岡山大学院跡地を工夫して、日帰り温泉施設を整備してはどうか。	
13	三徳川はヤマメ、ハエ、マス、ウグイの絶好の釣り場であるため、誰でも入って魚釣りができる釣り場設定をしてはどうか。解禁の件があれば料金をとればよいと考える。	P.25 ・地域の意見・要望 「・三徳川はヤマメ、ハエ、マス、ウグイの絶好の釣り場である。」を追加。漁業権を購入することにより、現在でも溪流釣りは可能であるため、計画書には反映しない。

6. 観光客実態調査結果

1) 調査実施概要

聞き取り調査実施概要は以下のとおりである。

調査概要	観光客聞き取り調査
目的	小鹿溪および三徳山の観光客のニーズを把握する
調査日	平成 26 年 11 月 1 日（土）～平成 26 年 11 月 2 日（日）
天候	曇り時々雨
調査時間	午前 8 時～午後 5 時（計 9 時間×2 日間）
調査場所	小鹿溪：小鹿溪駐車場
	三徳山：投入堂遥拝所
調査対象	三徳山：投入堂遥拝所訪問者 小鹿溪：小鹿溪駐車場訪問者
調査方法	調査員による対面式の聞き取り調査または直接記入のアンケート調査（回答者には、お礼として記念品を配布）
回答 サンプル数	小鹿溪 68 名：（うち有効回答数 68 票） 三徳山 162 名：（うち有効回答数 160 票）

■調査箇所の位置図



2) 調査内容

調査した内容は以下のとおりである。

調査項目	内 容
属性	性別、年齢、居住地、交通手段、来訪者数、同行者、旅行日程、宿泊場所、来訪予定観光地
来訪目的	三徳山または小鹿溪を訪れた目的
来訪頻度	調査対象に何度来たことがあるか
来訪きっかけ	調査対象を来訪するきっかけとなった情報媒体
施設内の観光予定	調査対象内のどこまでの場所を観光予定か
満足度	調査対象の満足度 (総合、自然、歴史・文化、サイン案内板、トイレ休憩所、駐車場・交通期間)
必要な施設	今後、魅力を高めていくために必要な施設、機能は何か
国立公園編入の認知度	大山隠岐国立公園に編入されたがそのことを知っているか
相互の観光資源の認知度	三徳山では小鹿溪を小鹿溪では三徳山を相互に知っているか
相互観光資源への来訪予定	相互の観光資源に行ってみたいと思うか

■調査実施写真（小鹿溪駐車場）



■調査実施写真（三徳山遥拝所）



(3) 調査結果

・以下に三徳山での聞き取り調査の結果を示す。

三徳山調査結果

回答者属性 1-1

① 年齢・性別

- ・回答者の性別は、男性 55%、女性 45%である。
- ・回答者の年齢層は「60代」が最も多く、全体の3分の1を占める。次いで「50代」が23%、50代以上が全体の3分の2を占める。

性別	回答数
男性	84
女性	69
合計	153

(回答なしを除く)

年齢層	回答数
20代	15
30代	13
40代	26
50代	35
60代	48
70代以上	16
合計	153

(回答なしを除く)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	8	7	14	19	29	9	86
女性	6	6	11	15	18	7	63
合計	14	13	25	34	47	16	149

(回答なしを除く)

② 居住地域・来訪交通手段

- ・回答者の居住地域は、「中国地方」が最も多く約4割を占め、次いで「近畿地方」が約3割を占める（中国地方のうち鳥取県内居住者は、41%）。
- ・回答者の来訪交通手段は、自家用車が8割を占める。

交通手段	自家用車	レンタカー	観光送迎バス	路線バス	合計
居住地域					
中国地方	56	1	0	0	57
（うち鳥取県内）	(23)	(1)	(0)	(0)	(24)
近畿地方	53	0	0	1	54
関東地方	7	7	6	1	21
その他地域	18	6	1	0	25
合計	133	14	7	2	157

小鹿溪調査結果

回答者属性 1-1

① 年齢・性別

- 回答者の性別は、男性 68%、女性 32%である。
- 回答者の年齢層は「60代」が 27%と最も多く、次いで「20代」が 20%、「40代」が 17%である。

性別	回答数
男性	45
女性	20
合計	65

(回答なしを除く)

年齢層	回答数
20代	13
30代	8
40代	11
50代	9
60代	18
70代以上	6
合計	65

(回答なしを除く)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	9	6	7	7	10	6	45
女性	4	2	4	2	8	0	20
合計	13	8	11	9	18	6	65

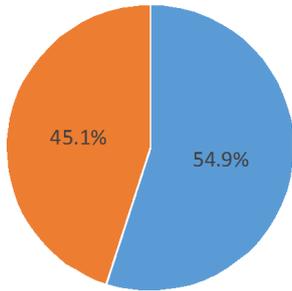
(回答なしを除く)

② 居住地域・来訪交通手段

- 回答者の居住地域は、「中国地方」が最も多く約 7 割を占め、次いで「近畿地方」が多い（中国地方のうち鳥取県内居住者は、63%）。
- 回答者の来訪交通手段は、自家用車・レンタカーに限られる。

交通手段	自家用車	レンタカー	観光送迎バス	路線バス	合計
居住地域					
中国地方	46	0	—	—	46
（うち鳥取県内）	(29)	0	—	—	(29)
近畿地方	16	0	—	—	16
関東地方	0	1	—	—	1
その他地域	4	0	—	—	4
合計	66	1	—	—	67

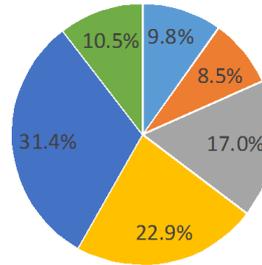
■性別



■ 男性
■ 女性

N=153

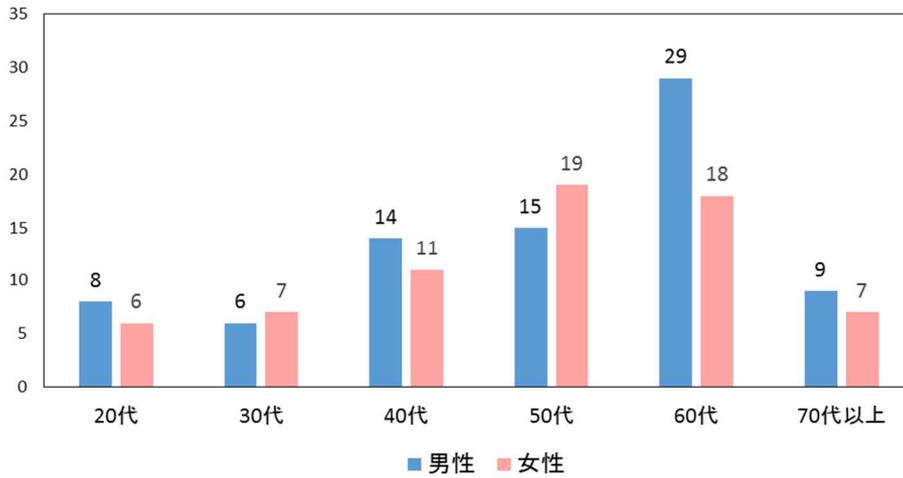
■年齢層



■ 20代
■ 30代
■ 40代
■ 50代
■ 60代
■ 70代以上

N=153

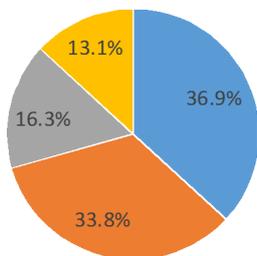
■性別 × 年齢層



■ 男性 ■ 女性

N=149

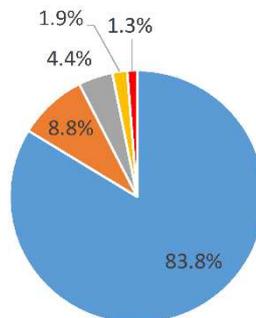
■居住地域（地域別）



■ 中国地方
■ 近畿地方
■ その他地域
■ 関東地方

N=157

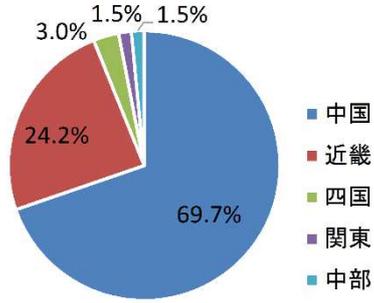
■来訪交通手段



■ 自家用車
■ レンタカー
■ 観光・送迎バス
■ 回答なし
■ 路線バス

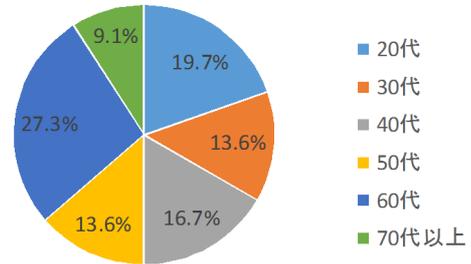
N=157

■性別



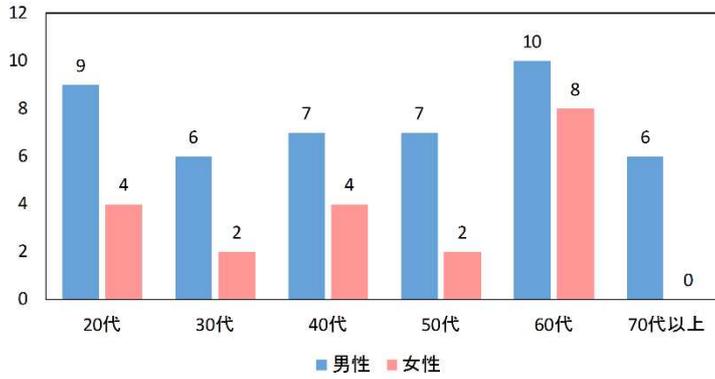
N=63

■年齢層



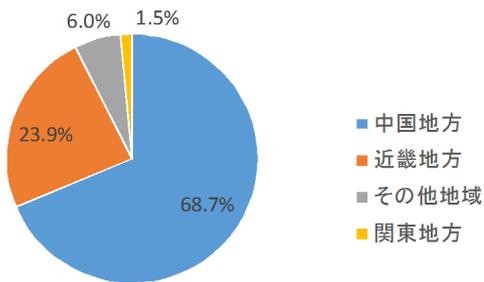
N=66

■性別 × 年齢層



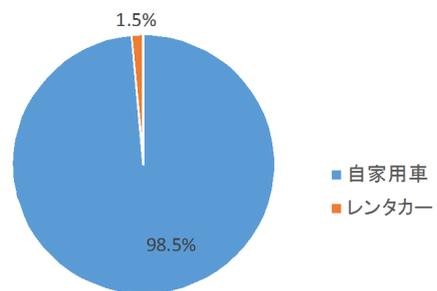
N=65

■居住地域（地域別）



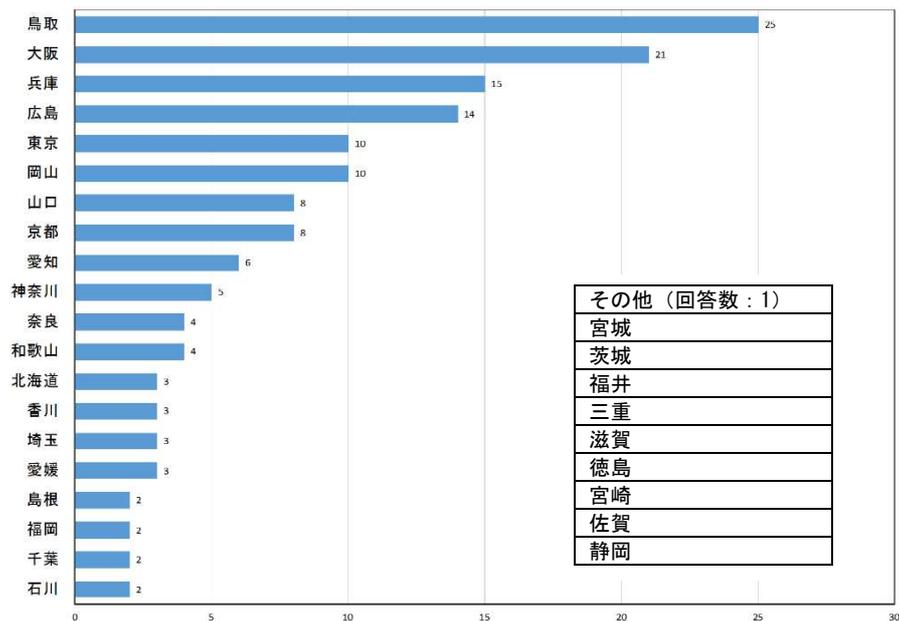
N=67

■来訪交通手段



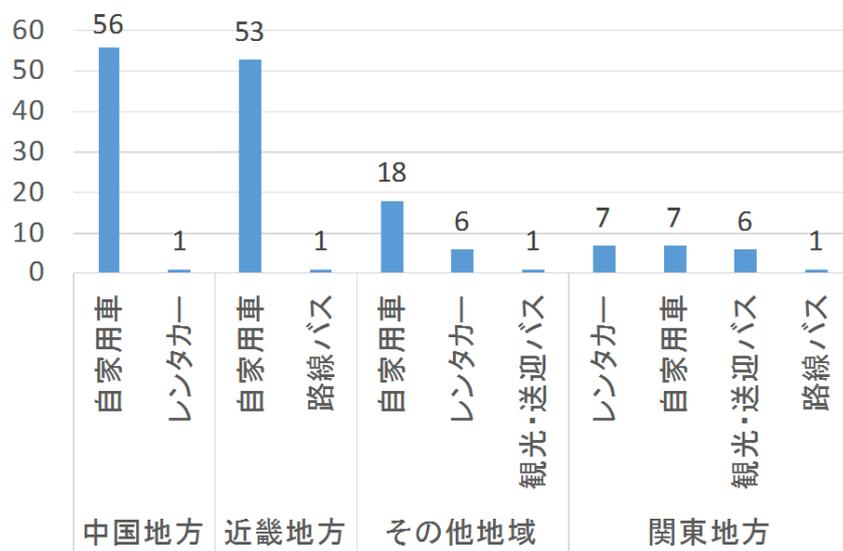
N=67

【参考1】居住地域（県別）



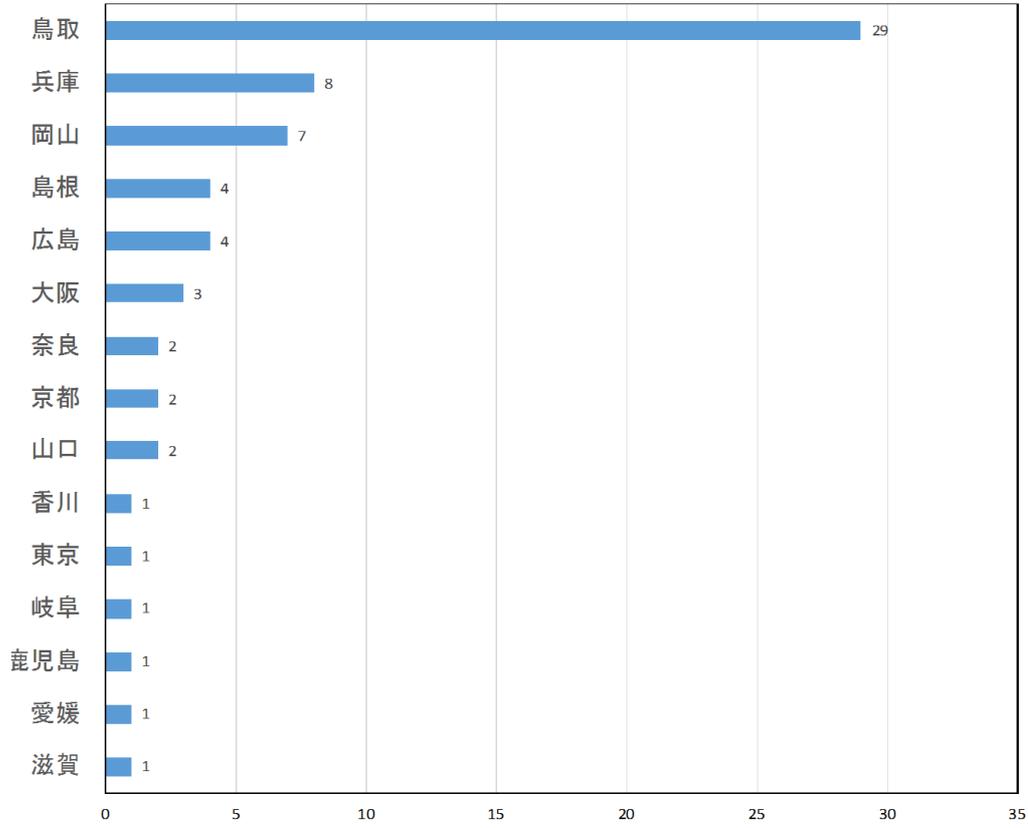
N=159

【参考2】クロス集計：居住地域×交通手段



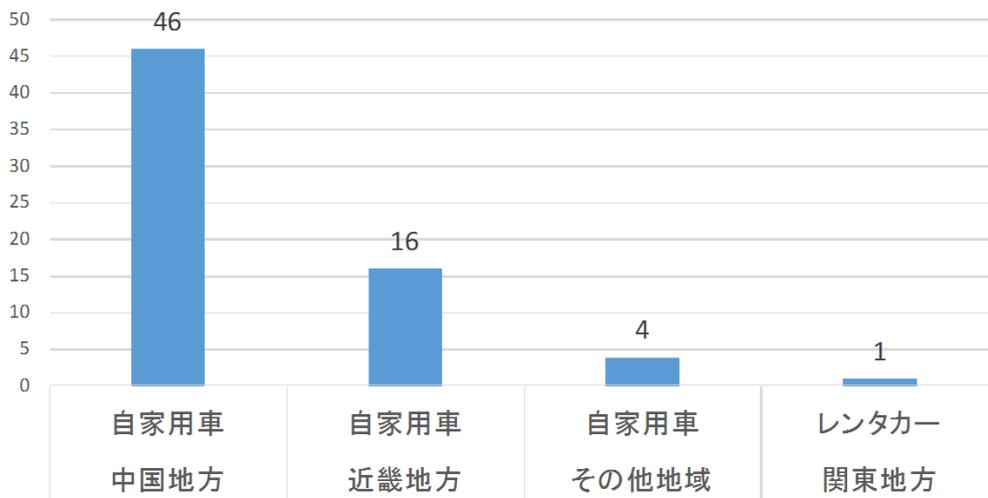
N=157

【参考 1】居住地域（県別）



N=67

【参考 2】クロス集計：居住地域×交通手段



N=67

回答者属性 1-2

③ 同行人数・同行者の関係

- ・回答者の同行人数は2人が最も多く、全体の過半数を占める。
- ・次いで3～6人の家族が、回答者数全体の約3分の1を占める。
- ・回答者の同行者との関係は、家族（親戚）が最も多く全体の7割を占める。

同行人数	回答数
1人	6
2人	85
3人～6人	52
7人以上	17
合計	160

同行者との関係性	回答数
家族（親戚）	109
友人・知人	33
職場・同僚	5
団体旅行（ツアーなど）	5
サークル・同好会	2
合計	154

(回答なしを除く)

④ 旅行日程・宿泊先

- ・回答者の旅行日程は1泊2日が最も多く、過半数を占める。
- ・回答者の宿泊先は「三朝温泉」が最も多い。
- ・三朝温泉の他には、羽合温泉や東郷温泉、倉吉市内など三朝町近郊の宿泊地があげられる。

宿泊日程	回答数
日帰り	37
1泊2日	81
2泊3日	35
3泊4日以上	6
合計	159

宿泊先（複数回答）	回答数
三朝温泉	74
鳥取県内の宿泊地	32
県外の宿泊地	6
その他（家族・親戚宅など）	6
合計	118

(回答なしを除く)

【回答者の主な宿泊地（三朝温泉以外の鳥取県内の宿泊地）】

・倉吉市内	5	・関金温泉	3
・羽合温泉	7	・大山周辺	3
・東郷温泉	3	・鳥取市内	3
・鹿野温泉	3		

【回答者の主な宿泊地（県外の宿泊地）】

・玉造温泉	5	・蒜山	4
・岡山、倉敷	3	・松江	2

回答者属性 1-2

③ 同行人数・同行者の関係

- ・回答者の同行人数は2人が最も多く、全体の過半数を占める。
- ・回答者の同行者との関係は、家族（親戚）が最も多く全体の7割を占める。

同行人数	回答数
1人	4
2人	41
3人～6人	20
7人以上	2
合計	67

同行者との関係性	回答数
家族（親戚）	44
友人・知人	15
サークル・同好会	2
職場・同僚	2
合計	63

(回答なしを除く)

④ 旅行日程・宿泊先

- ・回答者の旅行日程は日帰りが最も多く、過半数を占める。
- ・回答者の宿泊先は「三朝温泉」が最も多い。

宿泊日程	回答数
日帰り	34
1泊2日	16
2泊3日以上	10
合計	60

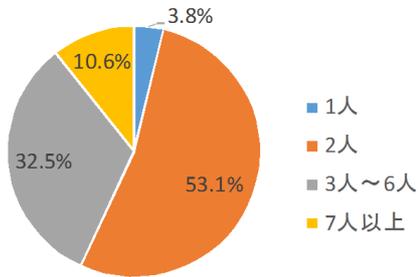
宿泊先（複数回答）	回答数
三朝温泉	18
その他鳥取県内の宿泊地	4
その他（家族・親戚宅など）	2
合計	24

(回答なしを除く)

【参考】回答者の主な宿泊地（三朝温泉以外の鳥取県内の宿泊地）

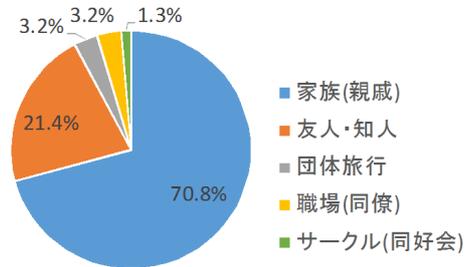
・米子周辺	2	・浜村温泉	1
・鳥取市内	1		

■ 同行人数



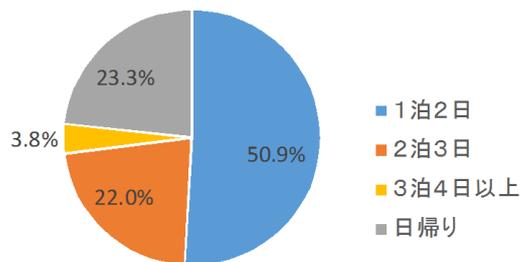
N=160

■ 同行者との関係性



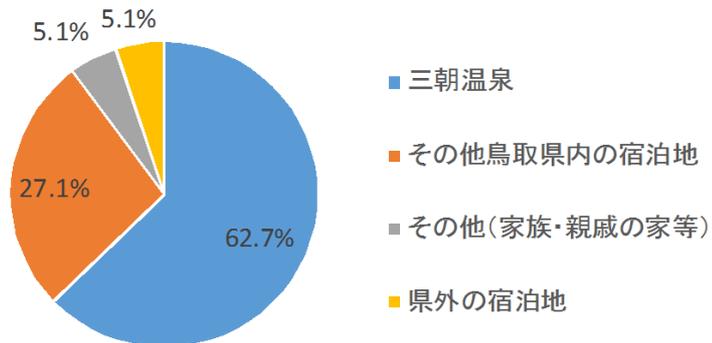
N=154

■ 旅行日程



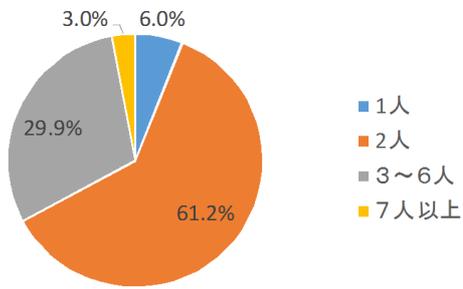
N=159

■ 宿泊先



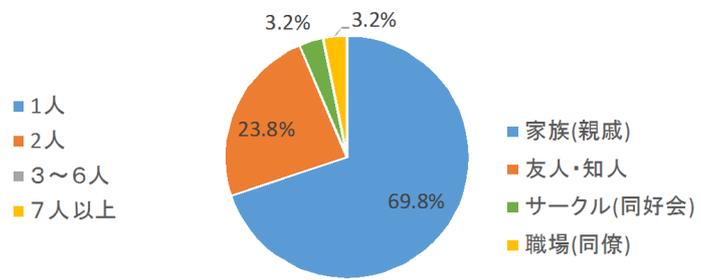
N=118

■ 同行人数



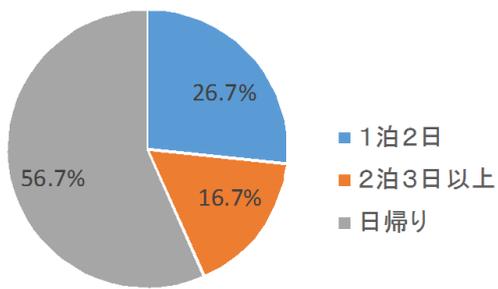
N=67

■ 同行者との関係性



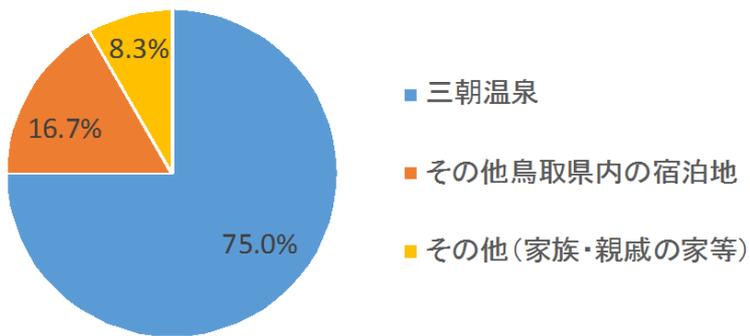
N=63

■ 旅行日程



N=60

■ 宿泊先



N=24

回答者属性 1-3

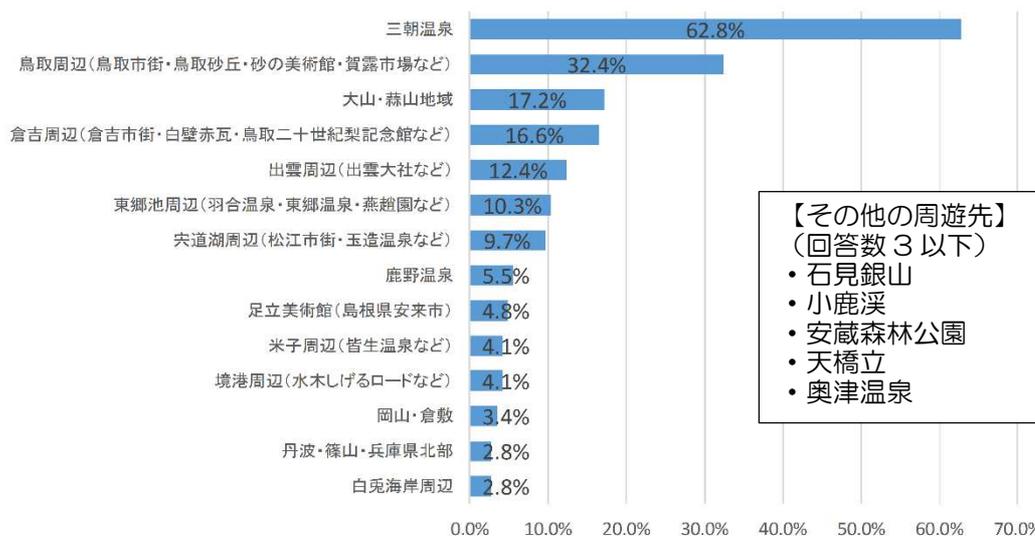
⑤周遊先（他に訪れる予定の観光地）【複数回答】

・回答者（三徳山の来訪者）の周遊先としては、三朝温泉や鳥取周辺、大山・蒜山地域、倉吉周辺などがあげられる。

周遊先（複数回答）	回答数	割合
三朝温泉	91	62.8%
鳥取周辺（鳥取市街・鳥取砂丘・砂の美術館・賀露市場など）	47	32.4%
大山・蒜山地域	25	17.2%
倉吉周辺（倉吉市街・白壁赤瓦・鳥取二十世紀梨記念館など）	24	16.6%
出雲周辺（出雲大社など）	18	12.4%
東郷池周辺（羽合温泉・東郷温泉・燕趙園など）	15	10.3%
宍道湖周辺（松江市街・玉造温泉など）	14	9.7%
鹿野温泉	8	5.5%
足立美術館（島根県安来市）	7	4.8%
境港周辺（水木しげるロードなど）	6	4.1%
米子周辺（皆生温泉など）	6	4.1%
岡山・倉敷	5	3.4%
丹波・篠山・兵庫北部	4	2.8%
白兔海岸周辺	4	2.8%
全サンプル	145	100%

（回答数 4 以上を抜粋、回答なしを除く）

■周遊先



N=145

回答者属性 1-3

⑤周遊先（他に訪れる予定の観光地）【複数回答】

- 回答者（小鹿溪の来訪者）の周遊先としては、三朝温泉や三徳山などがあげられる。三朝温泉を周遊される割合は、3割程度である。

周遊先（複数回答）	回答数	割合
三朝温泉	19	34.5%
三徳山	12	21.8%
鳥取周辺（鳥取市街・鳥取砂丘・砂の美術館・賀露市場など）	12	21.8%
大山・蒜山地域	9	13.4%
米子周辺（皆生温泉など）	3	5.5%
全サンプル	55	100%

（回答数 3 以上を抜粋、回答なしを除く）

■周遊先



N=48

- 【その他の周遊先】
（回答数 2 以下）
- 奥津温泉
 - 由良町（コナン通り）
 - 芦津溪谷
 - 出雲周辺（出雲大社など）

三徳山に関する質問 1

⑥三徳山の来訪目的

・回答者の三徳山への来訪目的は、「歴史・文化の体験」が最も多く、過半数を占める。

来訪目的	回答数
歴史・文化の体験	88
ドライブ・休憩（一時的な立ち寄り）	36
自然・風景鑑賞	17
参拝	15
登山・ハイキング（運動）	2
合計	158

（回答なしを除く）

⑦三徳山の来訪頻度（どのくらいの頻度で三徳山に訪れるか）

・三徳山への来訪頻度は、「今回が初めて」が最も多く 6 割を超える。

来訪頻度	回答数
今回が初めて	105
数年に 1 回程度（それ以下）	43
1 年に 1 回程度	5
数ヶ月に 1 回程度	5
1 ヶ月に 1 回程度	5
合計	159

（回答なしを除く）

⑧情報の入手先（来訪のきっかけ）【複数回答】

・三徳山への来訪のきっかけ（情報の入手先）は、「口コミ・家族や友人のススメ」や「昔から知っていた」が最も多い。

情報の入手先（複数回答）	回答数
昔から知っている（地元含む）	40
口コミ・家族や友人のススメ	40
雑誌・書籍	25
テレビ・ラジオ・新聞	20
その他	18
インターネット・SNS	13
観光パンフレット	8
宿泊先の旅館を通じて	4
旅行代理店を通じて	4

（回答なしを除く）

小鹿溪に関する質問 1

⑥小鹿溪の来訪目的

・回答者の小鹿溪への来訪目的は、「自然・風景鑑賞」が最も多く、8割を占める。

来訪目的	回答数
自然・風景鑑賞	53
ドライブ・休憩（一時的な立ち寄り）	5
登山・ハイキング（運動）	4
その他	3
合計	65

（回答なしを除く）

⑦小鹿溪の来訪頻度（どのくらいの頻度で三徳山に訪れるか）

・小鹿溪への来訪頻度は、「今回が初めて」が最も多く、7割を超える。

来訪頻度	回答数
今回が初めて	47
数年に1回程度（それ以下）	12
1ヶ月に1回程度	5
1年に1回程度	1
数ヶ月に1回程度	1
合計	66

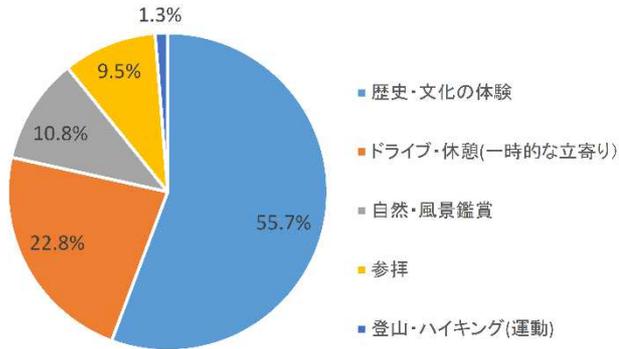
（回答なしを除く）

⑧情報の入手先（来訪のきっかけ）【複数回答】

・小鹿溪への来訪のきっかけ（情報の入手先）は、「昔から知っていた」が最も多く、インターネット・SNSと次ぐ。

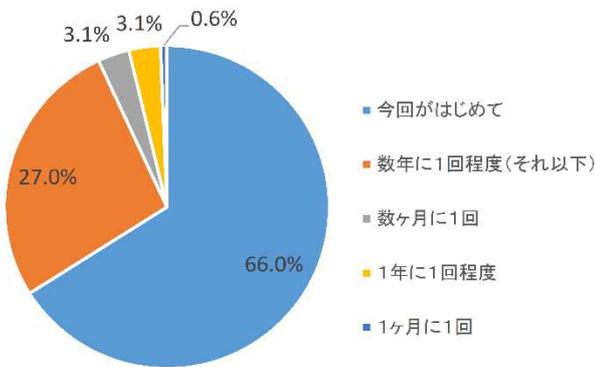
情報の入手先（複数回答）	回答数
昔から知っている（地元含む）	17
インターネット・SNS	11
観光パンフレット	7
口コミ・家族や友人のススメ	6
雑誌・書籍	6
テレビ・ラジオ・新聞	4
宿泊先の旅館を通じて	4
その他	7

■ 来訪目的



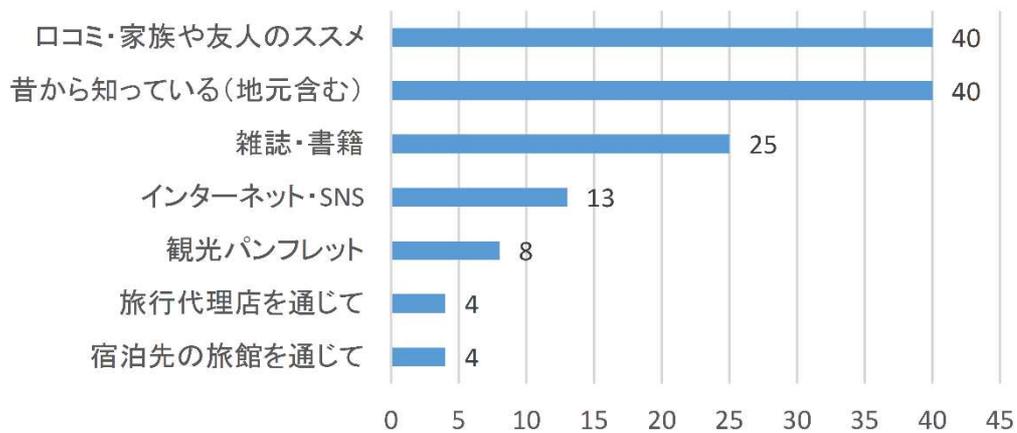
N=158

■ 来訪頻度



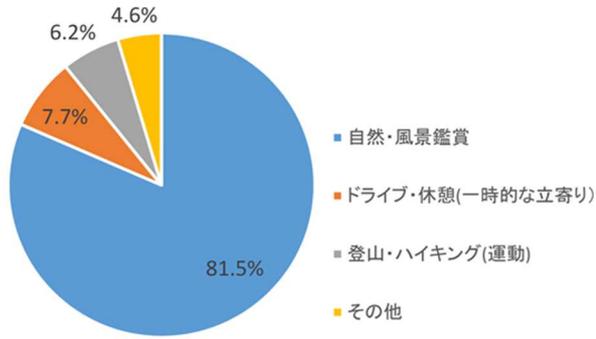
N=159

■ 情報の入手先



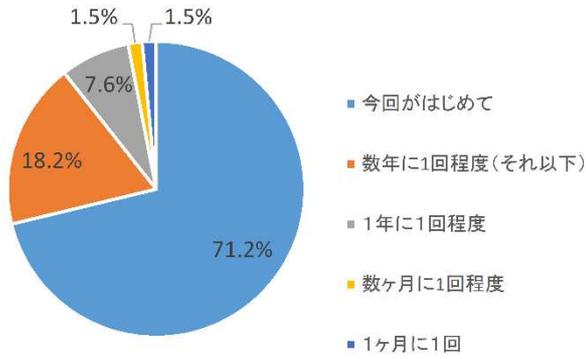
N=159

■ 来訪目的



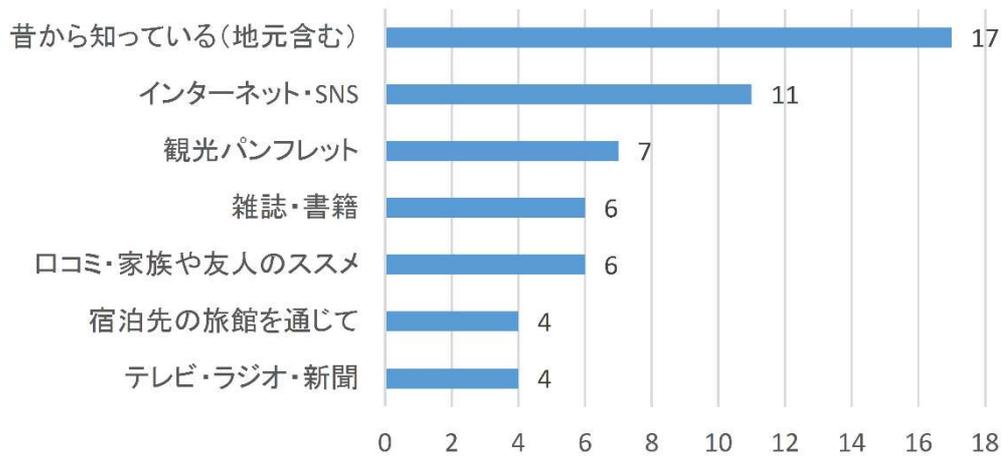
N=65

■ 来訪頻度



N=66

■ 情報の入手先



N=66

三徳山に関する質問2

⑨観光の形態（「どのような観光・見学をしたか」または「する予定か」）

・回答者のうち、遥拝所のみを参拝される方は約6割である。

観光・見学の形態	回答数
遥拝所から投入堂をみる	91
三仏寺本堂まで参拝	45
投入堂まで参拝（参拝登山）	16
合計	152

（回答なしを除く）

⑩三仏寺まで行かない理由【遥拝所だけの観光客】

・「時間的制約」が過半数を占める。

理由	回答数
時間的な問題・制約	53
体力・精神的な負担	11
金銭的な負担	2
その他（天候など）	23
合計	89

（回答なしを除く）

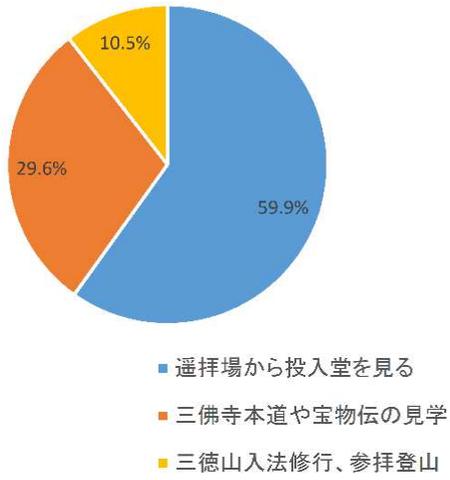
⑪投入堂まで行かない理由【三仏寺参拝者】

・「体力・精神的負担」が約4割を占める。

理由	回答数
時間的な問題・制約	7
体力・精神的な負担	14
その他（天候など）	16
合計	37

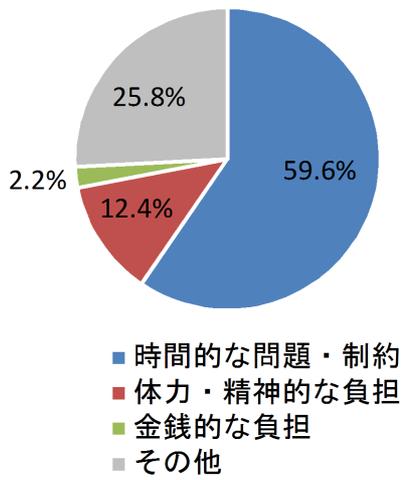
（回答なしを除く）

■ 観光・見学の形態



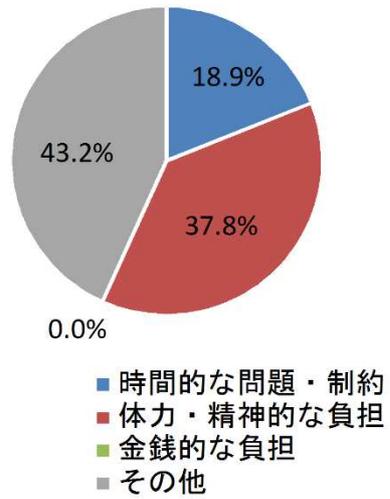
N=158

■ 三仏寺まで行かない理由



N=89

■ 投入堂まで行かない理由



N=37

小鹿溪に関する質問 2

⑨観光の形態（「どのような観光・見学をしたか」または「する予定か」）

・回答者（小鹿溪訪問者）のうち、遊歩道を利用される方は過半数を超える一方で、車道周辺からの見学など、短期滞在者も約 4 割を占める。

観光・見学の形態	回答数
小鹿溪の遊歩道を散策	37
駐車場・車道周辺から見学	26
その他	2
合計	65

(回答なしを除く)

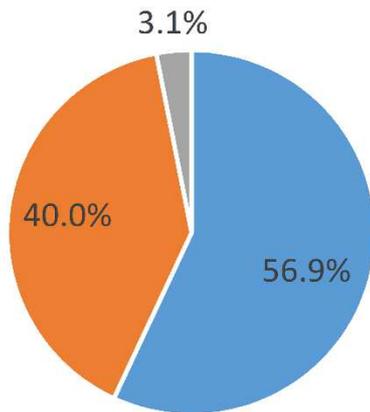
⑩遊歩道まで行かない理由【遥拝所からの観光客】

・「時間的な問題」、「体力・精神的な問題」、「その他（天候）」などさまざまである。

理由	回答数
時間的な問題・制約	6
体力・精神的な負担	8
その他（天候など）	8
合計	22

(回答なしを除く)

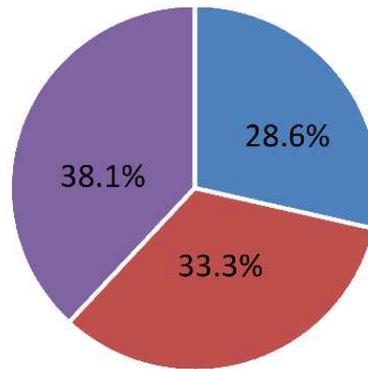
■観光・見学の形態



■ 小鹿溪の遊歩道
■ 車道周辺からの見学
■ その他

N=65

■遊歩道まで行かない理由



■ 時間的な問題・制約 ■ 体力・精神的な問題
■ その他

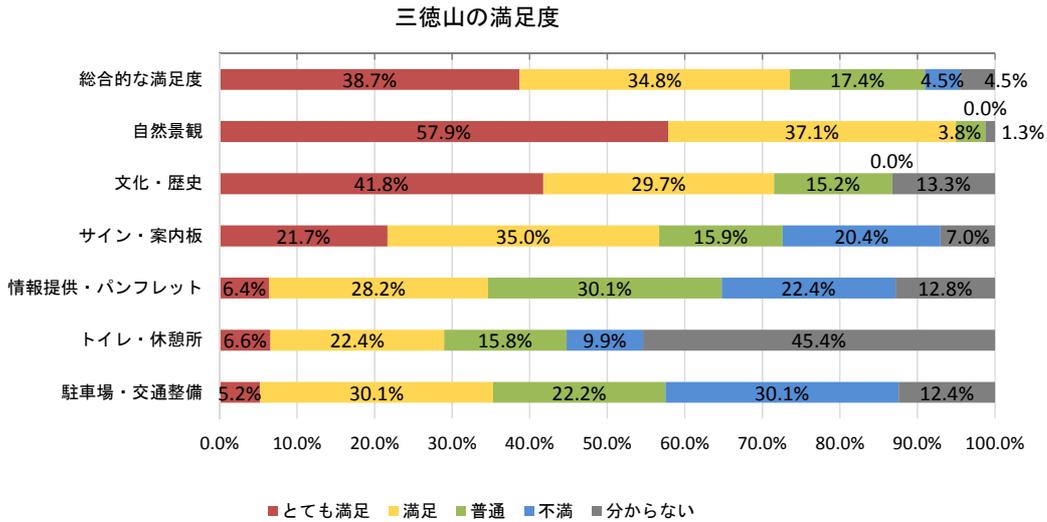
N=22

三徳山に関する質問 3

⑫三徳山の満足度

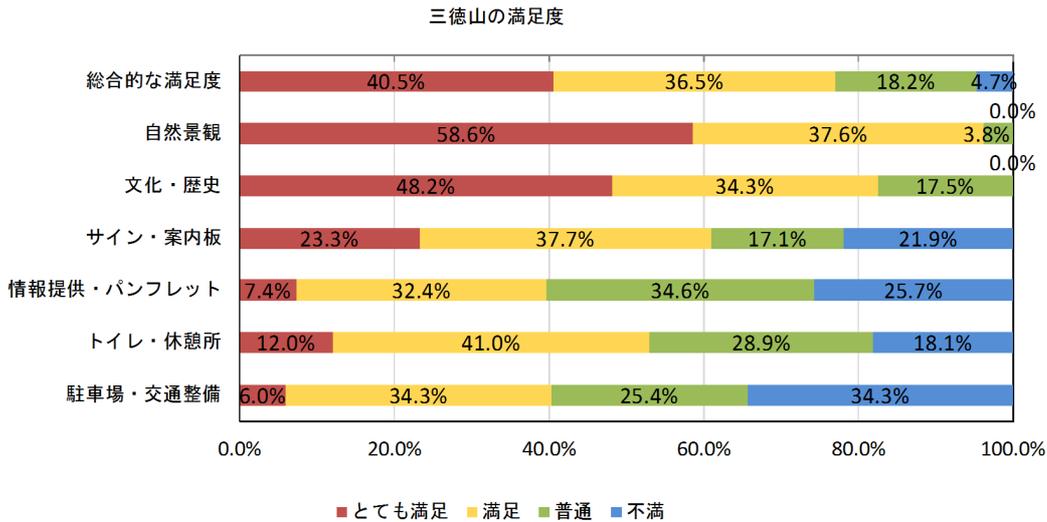
- 観光地としての総合的な満足度は、「とても満足」「満足」が7割を占める。
- 自然景観への満足度は、「とても満足」「満足」が9割を占める。
- 「情報提供・パンフレット」や「駐車場・交通整備」に対する満足度は低い。

■三徳山の満足度



N=155

【参考】三徳山の満足度（回答「わからない」を除く）



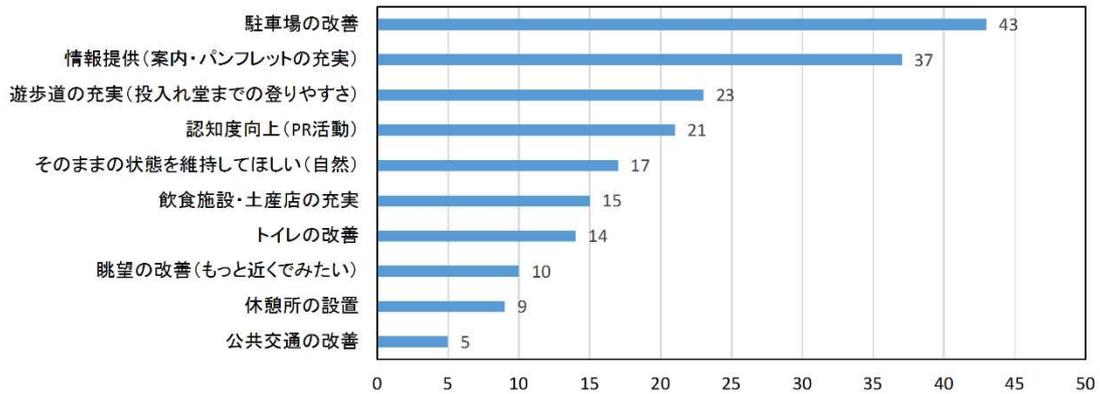
N=155※

※トイレ・休憩所などについては、利用されていない回答客は「わからない」と回答。
 回答「わからない」を除いた場合、「とても満足」「満足」が占める割合は過半数に達する。

⑬三徳山の魅力向上策・要望など（三徳山がさらに魅力的になるために必要なもの）

- 駐車場の改善、情報提供に対する意見が多い。
- 投入堂までの登りやすさを求める声もある。

■三徳山の魅力向上策・要望



N=160

その他自由意見

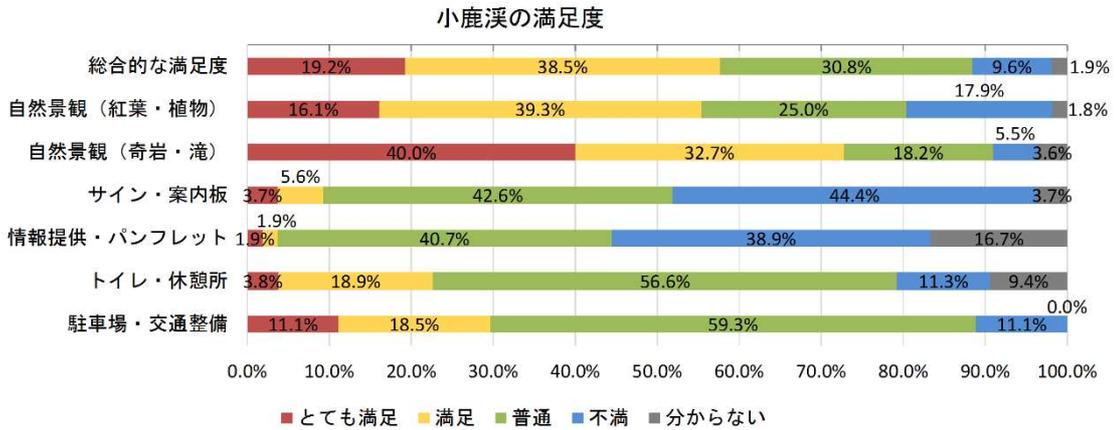
- 駐車場の枠（区画割）がなく、車が停めにくい。
- 駐車場の場所が遠く、わかりにくい（遥拝所まで遠い）。
- 一般観光客向けの駐車場が必要（駐車場の拡大）。
- 駐車場からの案内がない（駐車場に案内板が必要）。
- 遥拝所への案内がない（わかりにくい）。
- 服装の貸し出しや、単独登山ができるようにしてほしい。
- 日本一危険な参拝ができる場所であることをもっとPRしてほしい。
- できるだけ自然は残して欲しい（整備の必要はない）。
- 参拝登山に関する情報提供が乏しい（所要時間、服装、天候）。
- 投入堂が近くで見えるように（登りやすい環境の整備）。
- 関西・関東方面への積極的なPRが必要。
- HPの改善、気軽に手に入るパンフレットが必要。
- 湯葉や三徳豆腐が楽しめるお店、特産物販売所が必要。
- 鹿野方面からの案内が少ない。
- 遥拝所の近くにトイレが欲しい。
- 安全性の向上（子どもや高齢者への配慮）。

小鹿溪に関する質問 3

⑪ 小鹿溪の満足度

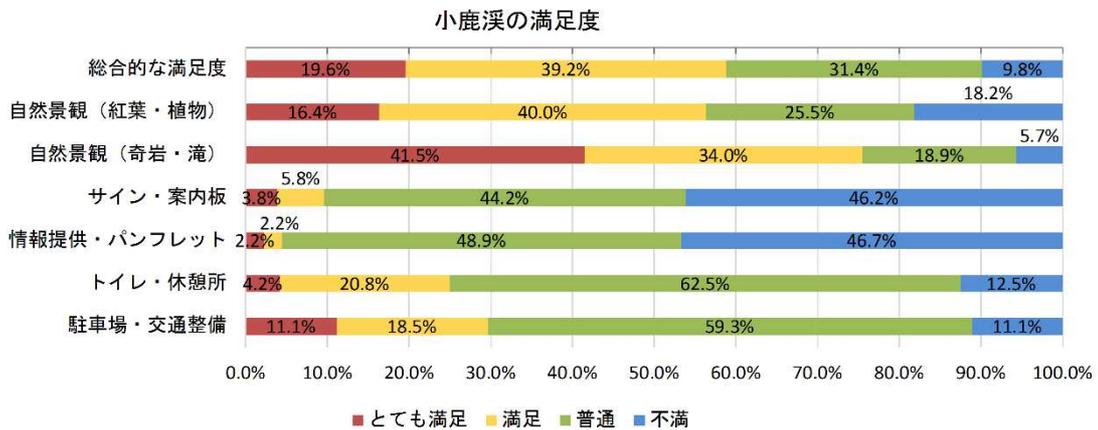
・観光地としての総合的な満足度は、「とても満足」「満足」が 6 割を占める。特に自然
 景観（奇岩・滝）への満足度が高い。
 ・「サイン・案内板」や「情報提供・パンフレット」に対する満足度は低い。

■ 小鹿溪の満足度



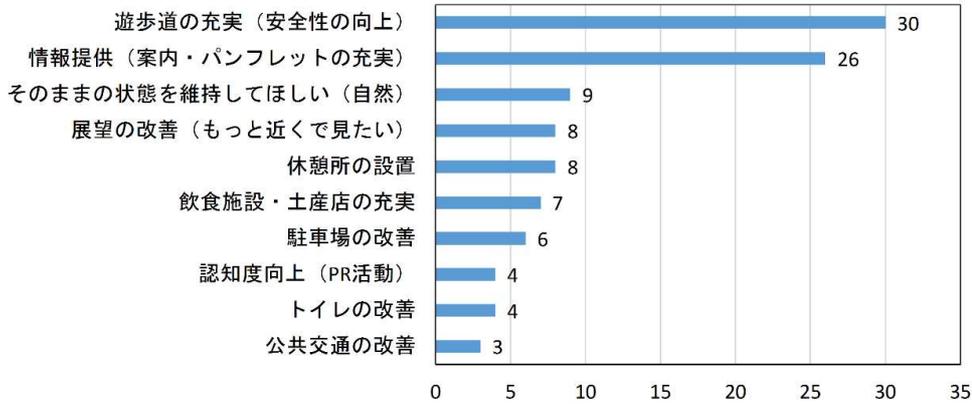
N=56

【参考】 小鹿溪の満足度（回答「わからない」を除く）



N=56

⑫小鹿溪の魅力向上策・要望など（小鹿溪がさらに魅力的になるために必要なもの）



N=67

その他自由意見

- 足元が悪く歩きにくい、手すりの整備が必要。
- 雨の日の階段はすべりやすい（危険である）。
- 木や雑草が生い茂っていて、遊歩道が歩きにくい。
- 散策する前に見所や奇岩の情報が欲しい。
- どこが見所で、どこが遊歩道の終点なのかわからない。
（この先、遊歩道がどこまで続くかわからず不安）
- 木々が生い茂っており、川が見えない。
- 遊歩道の中間や終点地点にもトイレや休憩所は必要。
- 遊歩道の終点側にも駐車場を整備してほしい。
- 中間地点に案内板が必要。
- 紅葉の時期がいつなのかの情報がほしい。
- 食事やお茶が楽しめる場所が必要。
- 自動販売機等の設置が必要。
- 道幅が狭い（対向車が怖い）。
- もう少し親水ができるような場所にしてほしい（泳げるどうかの情報が欲しい）。
- 景観や川はとてもきれい。
- 自然をみたい人は楽しめる。

小鹿溪・三徳山周辺資源の認知度（三徳山）

- 「三徳山の国立公園区域編入」の認知度は、2割と低い。
- 三徳山での、小鹿溪に対しての「認知度」は低い一方で、「次回は行ってみたい」、「行ってみよう」が合わせて7割を占めており、興味度は高い。

■三徳山の大山隠岐国立公園編入に対する認知度

	回答数
知っていた	32
知らなかった	127
合計	159

■小鹿溪の認知度

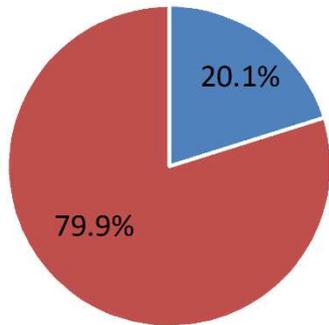
	回答数
知っていた	41
知らなかった	117
合計	158

■小鹿溪への興味・来訪経験（訪れてみたい場所か）

	回答数
行ったことがある	19
今回行く予定がある	7
行く予定はなかったが、行ってみようと思う	9
次回は行ってみたいと思う	107
次回も行く予定はない（魅力がない）	14
合計	156

回答なしを除く

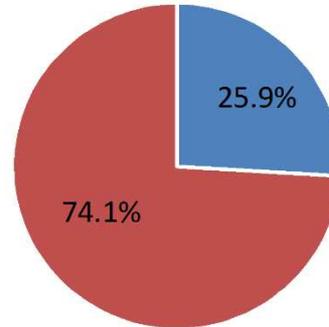
■ 国立公園編入への認知度



■ 知っていた ■ 知らなかった

N=159

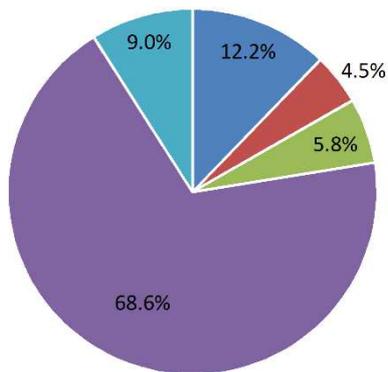
■ 小鹿溪の認知度



■ 知っていた ■ 知らなかった

N=158

■ 小鹿溪への興味・来訪経験



■ 行ったことがある
■ 今回、行く予定である
■ 行く予定はなかったが、行ってみようと思う
■ 次回は、行ってみたいと思う
■ 次回も行く予定はない(魅力がない)

N=156

小鹿溪・三徳山周辺資源の認知度（小鹿溪）

- ・「三徳山の国立公園区域編入」の認知度は、4割である。
- ・小鹿溪では、三徳山に対しての「認知度・来訪経験」は高い。

■三徳山の大山隠岐国立公園編入に対する認知度

	回答数
知っていた	25
知らなかった	39
合計	67

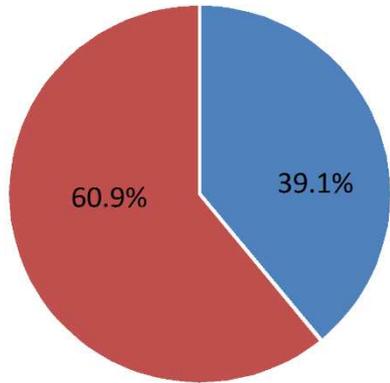
■三徳山の認知度

	回答数
知っていた	56
知らなかった	6
合計	62

■三徳山への興味・来訪経験（訪れてみたい場所か）

	回答数
行ったことがある	45
今回行く予定がある	3
行く予定はなかったが、行ってみようと思う	3
次回は行ってみたいと思う	4
次回も行く予定はない（魅力がない）	4
合計	59

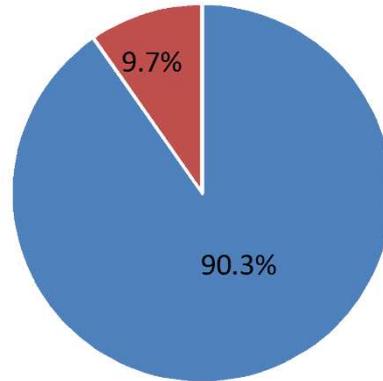
■ 国立公園編入への認知度



■ 知っていた ■ 知らなかった

N=67

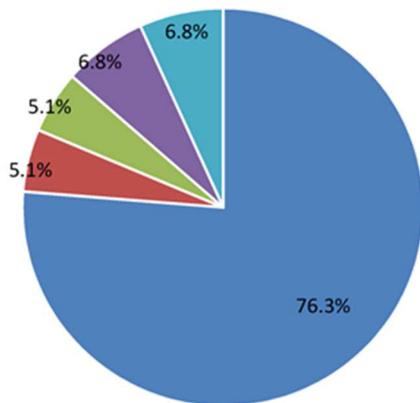
■ 三徳山の認知度



■ 知っていた ■ 知らなかった

N=62

■ 三徳山への興味・来訪経験



■ 行ったことがある
■ 今回、行く予定である
■ 行く予定はなかったが、行ってみようと思う
■ 次回は、行ってみたいと思う
■ 次回も行く予定はない(魅力がない)

N=59

(4)聞き取り調査表

三徳山・小鹿溪の魅力に関するアンケート

三徳山周辺

今後の三徳山・小鹿溪の豊かな自然の保全や、観光地としてのさらなる魅力向上のために、アンケート調査にご協力ください。(3分ほどの回答時間です。) あてはまる番号に○印を、あるいは下線部にお考えを記入下さい。

※アンケートで知りえた情報は、調査の目的のみに使用し、他の目的に使用することや内容等に関し外部に漏らすことはありません。

■今回のご旅行(お出かけ)についてお聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 性別は?	1. 男性	2. 女性						
(2) 年齢は?	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
(3) お住まいは? (居住地)	() 都・府・県 () 市・町・村							
(4) 三徳山への来訪交通手段は? (交通手段)	1. 自家用車	2. バイク	3. 徒歩・自転車	4. 観光・送迎バス	5. レンタカー	6. タクシー	7. 路線バス	8. その他
(5) 何人で来られましたか?	() 人 ※「1人」でお答えの方は、問7へ							
(6) ご同行者のご関係は?	1. 家族(親戚)	2. 友人・知人	3. サークル(同好会)	4. 職場(同僚)	5. 団体旅行	6. その他 ()		
(7) ご旅行の日程は?	1. 日帰り	2. 宿泊 () 泊 () 日 ※日帰りの方は問9へ						
(8) どちらにお泊りですか? (宿泊地)	1. 三朝温泉	2. 鳥取県内の宿泊地 ()	3. 県外の宿泊地 ()	4. その他 ()				
(9) 今回、他に訪れる予定の観光地は? (周遊先)	1. 三朝温泉	2. その他の観光地	行先名: ()					

■三徳山についてお聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 三徳山の来訪の主目的は何ですか?	1. 歴史・文化の体験	2. 自然・風景鑑賞	3. 登山・ハイキング(運動)	4. 学習・調査
5. 参拝	6. ドライブ・休憩(一時的な立ち寄り)	7. その他 ()		
② どれくらい頻度で三徳山を訪れますか?	1. 今回がはじめて	2. 数年に1回程度	3. 1年に1回程度	
4. 数ヶ月に1回	5. 1ヶ月に1回程度	6. その他 ()		
③ 三徳山をどのようにお知りになりましたか?	1. 雑誌・書籍等	2. テレビ・ラジオ・新聞	3. 旅行代理店等を通して	
4. ご宿泊先の旅館・ホテル	5. 三朝町の観光パンフレット	6. インターネット・SNS	7. 口コミ、家族や友人のススメ	8. その他 ()
④-I 今回、三徳山ではどのような観光・見学等をされましたか? (どのような予定ですか?)	1. 三徳山入峰修行、参拝登山をする(投入堂まで登る。入山する)			
2. 三徳寺の本堂や宝物殿は見学する(投入堂まではいかない; 入山する)				
3. 運拝場(現在地)から投入堂をみる。(三徳寺には行かない; 入山しない)				
4. その他 ()				
④-II 前の質問で2又は3を選択された方にお伺いします。投入堂、又は三徳寺に行かない理由は?	1. 時間的な問題・制約	2. 体力・精神的な負担	3. 金銭的な負担	4. その他 ()

⑤ 三徳山の観光地としての満足度を評価相手して下さい。

総合的な満足度	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
自然景観	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
文化・歴史	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
サイン・案内板	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
情報提供・パンフレット	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
トイレ・休憩所	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない
駐車場・交通整備	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない

⑥ 今後、三徳山がさらに魅力ある場所となるためにはどのようなものが必要だと思いますか? (3つまで選択可。)

1. 休憩所	2. トイレ	3. 遊歩道・登山道の充実	4. 飲食施設・土産店
5. 駐車場の拡大	6. 観光案内所	7. 展望施設(眺望の改善)	8. 公共交通の改善
9. パンフレットの充実	10. 案内人(観光ガイド)	11. 認知度の向上	

その他、三徳山の魅力向上のために必要だと思うものがあればご自由にご記入下さい。

■三徳山又は周辺の観光資源(小鹿溪)についてお伺いします。

⑦ この度(平成26年)、三徳山が大山隠岐国立公園の区域に編入されましたがご存知でしたか?

1. 知っていた

2. 知らなかった

⑧ 三朝温泉周辺の観光地として、小鹿溪という国の名勝に指定されている渓谷があります。あなたは、そのような場所があることを知っていましたか?

1. 知っていた

2. 知らなかった

⑨ 小鹿溪に行かれたことがありますか? また、今後行ってみたいと思いますか?

1. 行ったことがある

2. 今回、行く予定である

3. 行く予定はなかったが、行ってみたいと思う。

4. 次回は、行ってみたいと思う。

5. 次回も行く予定はない。(魅力を感じない)

⑩ ⑧で5を選択された方は、小鹿溪がどのように行ってみようかと思えますか。(任意)

以上でご質問は終わりです。

ご協力ありがとうございます。

三徳山・小鹿溪の魅力に関するアンケート

小鹿溪

今後の三徳山・小鹿溪の豊かな自然の保全や、観光地としてのさらなる魅力向上のために、アンケート調査にご協力ください。(3分程度の回答時間です)。あてはまる番号に○印を、あるいは下線部にお考えをご記入下さい。

※アンケートで知りえた情報は、調査の目的のみに使用し、他の目的に使用することや第三者に開示することはありません。

■今回の旅行(お出かけ)についてお聞きます。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 性別は?	1. 男性	2. 女性					
(2) 年齢は?	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上
(3) お住まいは? (居住地)	() 都・府・県 () 市・町・村						
(4) 小鹿溪への来訪交通手段は? (交通手段)	1. 自家用車	2. バイク	3. 徒歩・自転車	4. 観光・送迎バス	5. レンタカー	6. タクシー	8. その他
(5) 何人で来られましたか?	() 人 ※「1人」とお答えの方は、問(7)へ						
(6) ご同行者のご関係は? (誰と一緒に?)	1. 家族(親戚)	2. 友人・知人	3. サークル(同好会)	4. 職場(同僚)	5. 団体旅行	6. その他 ()	
(7) ご旅行の日程は?	1. 日帰り	2. 宿泊 () 泊 () 日 ※日帰りの方は問(9)へ					
(8) どちらにお泊りですか? (宿泊地)	1. 三朝温泉	2. 鳥取県内の宿泊地 ()	3. 県外の宿泊地 ()	4. その他 ()			
(9) 今回、他に訪れる予定の観光地は? (周遊先)	1. 三朝温泉	2. その他の観光地 行先名: ()					

■小鹿溪についてお聞きます。あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 小鹿溪の来訪目的は何ですか?	1. 自然・風景鑑賞	2. 登山・ハイキング(運動)	3. 学習・調査					
4. ドライブ・休憩 (一時的な立寄り)	5. その他 ()							
② どれくらいの頻度で小鹿溪を訪れますか?	1. 今回がはじめて	2. 数年に1回程度	3. 1年に1回程度	4. 数ヶ月に1回	5. 1ヶ月に1回程度	6. その他 ()		
③ 小鹿溪をどのようにお知りになりましたか?	1. 雑誌・書籍等	2. テレビ・ラジオ・新聞	3. 旅行代理店等を通して	4. ご宿泊先の旅館・ホテル	5. 三朝町の観光パンフレット	6. インターネット・SNS	7. 口コミ、家族や友人のススメ	8. その他 ()
④-I 今回、小鹿溪ではどのような観光・見学等をされましたか? (どのようなご予定ですか?)	1. 冠嶽(かんむりいわ)や中津集落など小鹿溪谷周辺もきめてしっかり散策する。							
2. 小鹿溪の遊歩道(1km)を歩いてゆっくりと散策する。								
3. 駐車場や車道周辺から小鹿溪を簡単に見学する。								
4. その他 ()								
④-II 前の質問で3を選ばれた方にお伺いします。遊歩道まで行かれない理由は何ですか?	1. 時間的な問題・制約	2. 体力・精神的な負担	3. 興味の問題	4. その他 ()				

⑤ 小鹿溪の観光地としての満足度を評価相手して下さい。											
総合的な満足度	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
自然景観(紅葉・産物)	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
自然景観(奇岩・滝)	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
サイン・案内板	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
情報提供・パンフレット	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
トイレ・休憩所	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
駐車場・交通整備	1. とても満足	2. 満足	3. 普通	4. 不満	5. 分らない						
⑥ 今後、小鹿溪がさらに魅力ある場所となるためにはどのようなものが必要だと思いますか? (3つまで選択可。)	1. 休憩所	2. トイレ	3. 遊歩道・登山道の充実	4. 飲食施設・土産店	5. 駐車場の拡大	6. 観光案内所	7. 展望施設(眺望の改善)	8. 公共交通の改善	9. パンフレットの充実	10. 案内人(観光ガイド)	11. 認知度の向上

その他、三徳山の魅力向上のために必要だと思うものがあればご自由にご記入下さい。

■周辺の観光資源(三徳山)についてお伺いします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

⑦ 小鹿溪や三朝温泉周辺の観光地として、三徳山(投入堂・三徳寺)という名勝・史跡があります。あなたは、そのような場所があることを知っていましたか?	1. 知っていた	2. 知らなかった			
⑧ この度(平成26年)、三徳山が大山隠岐国立公園の区域に編入されましたがご存知でしたか?	1. 知っていた	2. 知らなかった			
⑨ 三徳山(投入堂・三徳寺)に行かれたことがありますか?また、今後行ってみたいと思いませんか?	1. 行ったことがある	2. 今回、行く予定である	3. 行く予定はなかったが、行ってみたいと思う。	4. 次回は、行ってみたいと思う。	5. 次回も行く予定はない。(魅力を感じない)

⑧⑨から選択された方は、三徳山(投入堂、三徳寺)がどのような行ってみようかと思えますか。(任意)

以上でご質問は終わります。

ご協力ありがとうございました。